

ヤコブの残りの者は…青草に降り注ぐ夕立のようだ。  
彼らは人に望みをおかず…期待をかけない。  
…神を待ち望む。

(ミカ5：7、7：7)

ハレルヤ！ 皆さん、お元気ですか？ 熊本、大分など九州で大きな地震が何度も続き、胸が痛みます。被災者の皆さんに心からお見舞い申し上げます。チアのメンバーの皆さんも、熊本・大分におられます。南阿蘇村でホームスクーリングをされているAさん家族もおられます。山鹿市のBさん家族は、守られたということですが、緊張するレベルの余震が一日3-4回、続き、近所の皆さんは、夜は車で過ごす方々も多いとのこと。神さまからの癒しと平安が増し加わり、すべての



自信を与えるジョイラン！  
メダル取るチャンス大幅アップ作戦！大成功！

必要が備えられていきますように、皆さんと共に祝福を祈っていただければと思っています。

特別な春となりましたが、桜前線も東京を過ぎ、今は東北・北海道ですね。チア・コンベンションのパンフレット、今年は桜色のデザインとなりました。17年めに突入する今年、2組の基調講演者をアメリカから迎え、また、日本各地からの分科会講演者の計画も定まり、分科会スケジュールも満杯です。賢明な情報提供、大いなる励ましとチャレンジの時となればと思っています。ぜひ、お祈りとご参加、よろしくお願ひします。

4月2日、春のうららかな日差しと桜の花々の中で、「第3回ジョイランニング」を開催できました。今年は滋賀、長野からの遠方参加組も含めて、85名余りの参加で、神さまに向かって走ることを通して「チャーチ&ホームスクーリングの実力アップ」を目指しました。

今年度の新しい作戦の一つは「自信を与えるジョイラン！メダル取るチャンス大幅アップ作戦！」です。毎年、メダルはたくさん準備しています。このメダル、本格的です。ヘンデル作曲の讚美歌「栄光は汝に（見よ、勇者は帰る）」に合わせて、表彰台に登って、みんなにお祝いされながらもらうと、結構、大人も子どももうれしく、大きな励ましになることが、年々、分かってきました。

それで今年は、さらにメダルを獲得しやすいように、できるだけ各年齢・学年ごとの出走とし、各回、ほぼ1-4名で走りました。2レーンで走る体育の記録会みたいなイメージです。これまで、2-3学年ほど、6-12名ぐらいで走り、予選・決勝制で行っていましたが、切り替えました。さらに、5キロ、1500、100、50m走にはハーフ走も新設。100m走で金メダルを取った選手は、50m走で1位になっても、招待選手・参加記録にしてメダルはなし。まだ金メダルを取っていない選手が金メダルをもらって、「自信を与える作戦」で臨みました。

この作戦は大成功でした。一人、二人で走って、1位、2位を獲得していく姿に啓発されたのか、子どもも大人も、続々、飛び入り参加が増えました。競技種目も今年は倍増したのですが、どの種目にもぎやかでした。そして、参加選手のほぼ全員がメダルを受賞でき、表彰式がとて盛り上がりました（約1名、足の速いA君が、ちょうど激戦区の年齢ブロックに入った関係で、今回、受賞できませんでした。でも、「今度、挑戦するので大丈夫！」とのことでした）。

「我が家の子どもたち、走るの嫌いだったのですが、今日でなんか走るの好きになって燃えます。ありがとうございます」「今回、生まれて初めてメダルもらえました。とてもうれしかったです！」「運動はダメだと思っていた自分の子どもが、50m、100m、200mと喜んで走ってい



る姿を見て、信じられませんでした。すごい可能性が秘められているんだと反省し、教えられました」「去年は二人とも泣いて走らなかったのに、今回は自分から喜んで完走。感動しました」「子どもたち、家に帰ってもメダル受賞、大喜び。その姿、お見せしたかったです。今回のねらいどおり、バッチリでした」「大変お世話になりました。人生も第四コーナーをまわったことを実感していましたので、ジョイランは大変刺激になりました。自分を守るのではなく（温存するのではなく）、ここからは、攻めに転じてもいいかな？と思いました。自然を楽しむことを兼ねて、少しずつ走り始めようと思います。契機を与えて下さってありがとうございます」といった声が続き、うれしかったです。

**「自信を与えるコンセプト」**  
チャレンジしたら褒められる  
イエスさま式の褒め方

今回の「自信を与える」コンセプトは、いわば無条件の励まし、イエスさまの方法ですね。勝ち抜いたからメダルというより、チャレンジしたことが素晴らしい、比較ではなく、一生懸命やったらメダルという方法です。イエスさまが罪の身代わりに死んで下さったというプレゼントを受け取ったら、その出来栄に関わらず、みんな天国に行けるよという方法ですね。そのコンセプトが浸透して、みんな続々、参加してくれたのかな、これは良かったなと思いました。

それでコンベンションでも、1種目増やし、「写真コンテスト」も新設しました。今後も、できるだけ「自信を与える」イエスさまのコンセプトで、こぞって参加下さい（32 ページ参照）。

### コミュニケーションセミナー

3月21日、CSS 特別公開親子セミナー2「コミュニケーション力を高めるために、教えられてきたこと」を、祝福のうちに終えることができました。目的は、ホームスクーラーたちが、社会において、

キリストの福音のインパクトを効果的に与えていくために、私自身の様々な失敗体験や人生の学び等から、神さまに教えられていることを分かち合うことです。インフルエンザのために1ヶ月、延期したにも関わらず、参加者110名の皆さまが集まって下さり、楽しく、元気いっぱいの2時間30分でした。皆さまのお祈り、ご参加を心から感謝します。

### 0歳児から5歳児も、熱心に聞いてくれた！

まず、すごかったのは、0歳児から5歳児のみなです。大勢参加してくれましたが、2時間30分のセミナー中、ほぼみんなくつろぎつつ、熱心に聞いてくれました。

途中、6つの親子のコミュニケーション実践法を紹介して、「相撲の四股・ぶつかりげいこ」、「米軍・青学駅伝部がやっている新型親子腹筋」、「親子ボクシング」、「カートウィール（側転）」、「でんぐり返し」、「ライトセーバー（チャンバラ）対決」等、全員で実践したり、工夫したりしました。

また「セミナーの内容は、小さな子どもたちに



5 km、100、50、1500、200m & この日、2度目の1500 mに挑む！

も必要で、すぐに実践できることだから、小さな子どもたちも一緒に参加して大丈夫では、…」と思いました。実際に、最後まで集中して話を聞いてくれたのはうれしかったです。「我が家の子が、集中して聞いてて、びっくりしました」「さすが、ホームスクーラー」といった声も多かったです。

### 誰でもグッド・コミュニケーターになれる！ イエスさまはグッド・コミュニケーター

セミナーの一部を紹介すると、まず分かち合ったのは「イエスさまはグッド・コミュニケーターだったから、僕らも全員、グッド・コミュニケーターになれること」。

ヨハネ3章で、パリサイ人のニコデモと話す時、イエスさまは哲学的な話から始めます。「人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません」。ニコデモはよく分からず、でも興味をひかれ、対話が続く。聖書の核心のメッセージであるヨハネ3章16節、「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」につながります。

続く4章では、サマリヤ人の女と話す時、イエ

スさまは、まったくトピックも語り口も変えます。「あなたには夫が五人あったが、今あなたといっしょにいるのは、あなたの夫ではないからです」（ヨハネ4：18）と話し、自分が救い主であることを明かします。サマリヤの女は驚き、町の人々にイエスを宣べ伝えます。

相手のバックグラウンドや関心をイエスさまはよく知り、その人々が一番反応する違った窓口から、同じキリストの福音を分かち合っています。イエスさまは最高のコミュニケーターであることが分かります。そのイエスさまを信じ、従おうとしている私たちは、誰でも、良きコミュニケーターになれるわけです。

### アクションポイント： ソロモン王とダニエルに学ぶ

具体的なアクションポイントとしては、知恵者と言われ、良きコミュニケーターであった聖書の人物の方法を分かち合いました。史上、最も知恵に満ちていたと言われるソロモン王は、「善悪を判断して…聞き分ける心をしもべに与えてください」（1列王3：9）と求めて神さまに喜ばれ、「知恵の心と判断する心とを与える」（3：12）と約束されます。





7タイプ実践しました！  
親と子のコミュニケーション その4 でんぐり返し

捕虜として敵の王に仕えるという厳しい環境に  
いながら、信頼を得て、イスラエルの民を救い、  
敵国を治め、異邦人の王が国民に創造主を信じる  
命令を発するほどの影響力を発揮したダニエルは、  
「知恵と思慮とをもって対応した」（ダニエル2：  
14）ことが、聖書に記されています。

聖書は、こうした神からの最高の知恵を、惜し  
げなく誰にでも与えることを約束しています。「知  
恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも  
惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に  
願いなさい。そうすればきっと与えられます」（ヤ  
コブ1：5）。「ただし、少しも疑わずに、信じて願  
いなさい」（1：6）との秘訣と共に。

だから、「求めよ、さらば与えられん」で、キリ

ストの姿に習い、相手の必要を知り、良きコミュ  
ニケーターとなる知恵を必死に求め、神の約束  
への信頼と信仰をもって、求め続けるなら、誰  
でも知恵が与えられ、「グッド・コミュニケー  
ター」になれるということです。

### グッド・コミュニケーターの3つの姿勢

続いて「グッド・コミュニケーターへの3つ  
の姿勢」として、僕が教えられてきた日々の姿  
勢は、以下の3点です。

#### ① Be positive!

今から15年前のチア・コンベンションス  
ピーカーのダグ・フィリップ弁護士は、奥さん  
と4人の子どもたちと一緒に来日。2週間の滞  
在を終えて、成田空港に見送った時のことでし  
た。中学生の子どもたちが、何かで文句を言い  
始めました。その時のお母さんの言葉は、「Be  
positive! ネガティブな不平を言わないで！」。  
僕は、なるほどなーと思いました。

聖書では、神さまがキリストの血潮という犠  
牲を払い、私たちに寄り添いつつ、ポジティブ  
な約束を連ねて下さっています。「何も思い煩  
わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささ  
げる祈りと願いによって、あなたがたの願い事  
を神に知っていただきなさい」（ピリピ4：6）、「い  
つも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべ  
ての事について、感謝しなさい。これが、キリ  
スト・イエスにあって神があなたがたに望んでお  
られることです」（1テサロニケ5：16～18）、「主  
の山の上には備えがある」（創世記22：14）、「恐  
れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐ  
な。わたしがあなたの神だから。わたしはあなた  
を強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、  
あなたを守る」（イザヤ41：10）と、ポジティブ  
な約束と確かな保証に満ちています。

しかし、罪人の自分は、いかにネガティブな言  
葉を発することが多いか。神の御手から目をそら  
しているというわけですね。周囲を見ても、「すっ  
ごい楽しかったー！」と大喜びのティーンが、そ  
の2分後に「でもねー、あそこだけはやだなー」と、  
すかさずネガティブになっていく姿等、いろいろ

なシーンで出会います。

もちろん、何か悪い行動に対し、健全な批判や提案をしないということではありません。いわゆる私たちの罪の性質の故に、建設的な提案なしに、ただ不平不満を言うことを慎むということです。神さまの御手を、いつも見続けるということです。最近、その話を娘のエミリ（19）にすると、「ダディ、確かに以前は、本当に批判的な発言、多かったよね。でもある時から、ずっとポジティブな発言が多くなった。ダグの奥さんの発言のお陰なんだー」。その頃は、エミリはまだ4歳ぐらいだったと思いますが、変化を感じたのでしょうか（^^;）？

そのあたりを活かそうと、ジョセフ（7）に「“文句たれべー”はダメだよ」と言うこともあります。この前、インフルエンザ中、僕が「具合悪ーい」と言うと、「ダディ、Be positive! 文句たれべーはダメだよ」とジョセフに返されました。「うーん、こういう時は、正直に伝えるのはいいんじゃない（^^;）」と楽しく、話したりしています。

## ②「お早うございます」「ありがとうございます」は、自分から大きな声で

自分から挨拶や感謝を言い表すことは、コミュニケーションをぐっと良くします。イエスさまも復活後、「平安があなたがたにあるように！」（ヨハネ 20：19）と元気で深い励ましの言葉と共に現れました。

NHKに入局後、旭川局の上司のCプロデューサーが先輩ディレクターら5人に対し、「朝、お早うございますと、自分から大きな声で挨拶できないやつはダメだからな」と指導していました。言い換えれば、TV局のディレクターというコミュニケーションが仕事のような人々でも明るく、自発的な「挨拶」ができていないということです。また、大事で効果的だということです。

「ありがとうございます」も同じです。聖書に「すべての事について、感謝しなさい」（1テサロニケ 5：18）と書いてある通りです。「お早う！」「ありがとう！」だけでなく、「お早うございます」「ありがとうございます」まで、はっきりと言うなら、もっと相手への敬意が伝わるでしょう。

ジョセフには、それらのことをよく教える機会



親と子のコミュニケーション その5  
ボクシング

があり、ずいぶん得をしていると思います。たとえば、飛行機のCAさんたちにジョセフは「ありがとうございます」と毎回、御礼を言うので、CAさんたちが驚き、そのことをきっかけに、多くのCAさんと仲良くなり、ホームスクーリングやイエスさまのことを分かち合うチャンスが数多く、与えられています。

セミナーの数日後、何人かの方から、「子ども（4）が大きな声で、近所の人に『お早うございます！』と言ったら、びっくり&好感されて、とても良い交わりが与えられました」「家で、お早う！だけでなく、お早うございます！と言うようになって、なんか楽しい朝になりました」と報告が届いています。自発的で、心と敬意を込めた挨拶や感謝は、コミュニケーションの扉を大きく開きます。

### ③シャイ&ルード（不躰・失礼）は、罪

日本のティーンに多い現象で、最初は恥ずかしがり（シャイ）、挨拶や会話等、自分から積極的にできず、自分の知り合いだけで固まってしまい、その後、開き直って、不躰・失礼なままで過ごしてしまうというパターン。時には、「プリッ」と怒ってみせ、周囲が腫れ物にさわるようになるケースも少なくありません。この感じで大人になれば、当然、社会では、福音の影響力を発揮しにくいタイプとなってしまいうでしょう。

なぜシャイになるかと言えば、自分が他人にどう映っているか、どう思われているか、他人の目が気になる、つまり、神さまがどう思っているかではなく、人や自分が中心になっている自己中心の罪とも言えます。

僕は高校時代に苦い失敗があります。シャイではなかったですけど、他人が自分をどう思うかで、がんじがらめになっていたのかなと思います。当時、甲子園を目指していた僕は、バッテリーボックスに入ると、「あれ？ 応援団の声が少し小さくなったな。みんな僕には期待してないのかな…」と、ひたすら考えていました。それでは打率もあがりようがありません。そうこうしているうちに、春の大会まで5番の中軸を打っていた僕は、長期スランプとなり、最後は後輩にポジションを奪われ、コーチャーズボックスで夏を終えたのでした。

シャイは「場慣れしてない」「経験不足」「自信がない」といった側面もあるとは思いますが、でも、その本質は、自分中心の一つの現れで、罪。シャイからの脱出は、自己中心から、神中心へ。「人が自分をどう思うか」から、「神はどう思うか」へ。その変革は自分の力では無理だけど、聖霊の助けと力で乗り越えられます。

### 3つのCとごろにゃん作戦

「コミュニケーションの3つのC: Compassion(同情)、Conviction(確信)、Communication(コミュニケーション)」の賜物が与えられるように祈って接すること。

ごろにゃん作戦 — 「どんな野良猫でも足元にまわりついて来て、おっぱらってもまたなつ

いてきたら、かわいくなってくる。ごろにゃん、ごろにゃんと積極的に行くんだよ」(毎日新聞社の伝説の社会部記者、故山崎宗次さん、「マスコミ希望者への寺子屋・山崎塾」塾長に習った秘訣)。何か、こびるとか、おもねるといことではなく、勇気と笑顔をもって、積極的にアプローチすることです。

数日後伺った、あるホームスクーリングお父さんのコメントです。「ごろにゃん作戦、実際、職場でトライしています。長い間、シャイな人生を歩んできて、これではいけないと思い、自分から挨拶しています。どう思われるか気になり、恐れる時もありますが、ごろにゃん作戦で、勇気をもって、アプローチしています。感謝です」。

そのほか、いくつか、これまでに学んだことを



親と子のコミュニケーション その1  
新型腹筋 (米軍・青学駅伝部のトレーニング法)

分かち合わせていただきました。機会があれば、また紹介させていただければと思います。

## 「地道な活動が少しずつ広がっていますね」 (ある校長より)

### 『チア・マガジン43号』への反響

先月、送らせていただきました『チア・マガジン43号 - 多様な教育機会確保法案』ですが、多くの励ましの言葉、ありがとうございます。今日も、東京のホームスクーラーの方から、以下のメールをいただきました。

「稲葉さんのアドバイスと、チア・マガジン43号や、国会議員の方々への贈呈用の封筒や推薦の言葉などを握り、祈りつつイエスさまを現す伝道の心で中学校、そして小学校へ挨拶してきました。結果からお伝えしますと、本当に平安の中で主がハレルヤな状況に導いて下さり、良いスタートを切ることができました。

小学校では、新校長のもと、継続してホームスクーリング（教科書は頂く等）の流れとなりました。マガジン43号などを用いて、日本のホームスクーリングの現状や国会での議論などをご紹介しますと、『地道な活動が少しずつ広がっていますね』と励ましの言葉を下さいました。娘には卒業証書も頂き、無事小学校を卒業とな

りました。

中学校では、マガジンを使って日本全国でどのように展開されているかなど説明しましたら、安心されたようで、その後の話もとてもスムーズに進みました。教科書も、先日受け取りました。

何より今回のプロセスで、改めて学校に対してイエスさまを伝え、現していこうという思いを与えられています。お恥ずかしい話ですが、面倒なことにならなければいいな、くらいにしか思っていなかったです…。チアからの多くのサポートによって励まされ、祈られている中で進めたことは本当に感謝でした。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします！」

## 「普通教育法案」国会提出へ

皆さんに祈っていただいています「多様な教育」をめぐる法案ですが、一步一步進んでいます。このテーマは、時代の必要と流れの中で、ますます光が当たってくることと思います。チアとしては、ホームスクーリングの環境整備に直接、関わってくることでもあり、最優先で取り組んでいます。できるだけ情報提供しますので、今のうちに一層、知識を蓄え、理解を深めていただければと思います。聖書、憲法の眼差しに立ちながら、ますます堅固にホームスクーリング



超党派フリースクール等議連総会  
(衆議院第一議員会館にて 3月11日)

展開をされて実を結びつつ、特別に祈りに覚えていただければ、強力な推進力となっていくと思います。さらにアクションが必要な時には、連絡させていただきますので、その時はよろしく願います。

祈りの課題として、神さまの守りと祝福の中で、ますます環境整備が進んでいきますように、関係している国会議員、文科省、関係者、不登校の皆さん方にキリストの福音がますます届き、みんなが祝福されていくように、祈り続けていただければと思っています。

4月20日現在の最新状況は以下の通りです。法案の国会提出を目指した、超党派の関係議員による立法チームの会議は、終了しています。今は各党に座長案を持ち帰り、各党での審議が続いています。自民党の文教部会では、大筋合意され、民進党も13日の部会で法案提出が了承となり、ほかの党の状況を見つつ、近く、議連総会が計画されるようです。その後、連休前後に、法案が衆議院の文部科学委員会、参議員の文教科学委員会で審議・質疑応答され、可決される見込みです。

チアとしては、昨年来、削除を提案していた「教育委員会による許認可制」も、今回の新しい座長案の中で全面的に削除となり、良かったと思います。制度としては変更なく、現状通り・現状追認という方向となりました。アメリカのHSLDA(ホームスクーリング法的擁護協会)のマイク・スミス代表弁護士からも、「ほぼ現状通りということで良かったと思う。良くやった!」と連絡が届いています。関係議員、省庁の皆さんに大変、感謝しています。

一方、旧座長案で、進歩的とも言えた「多様な教育機会確保」との文言が、法案名や基本理念から削除されています。その結果、現状や、これまでの不登校対策の施策との差違がほとんどなくなり、法案の実効力が問われています。

不登校の現場からは、賛否両論が立法チームに寄せられ、混乱した状況で、関係議員の皆さんも苦悩しておられる方々も多いです。12万人余りの不登校家庭の中の約4%(4000人余り)が通うフリースクールの中でも賛否が分かれ、「不登校生への休息が、法律の条文として認められたので一歩前進。今後のフリースクールへの支援・多様な

教育審議への法的論拠となる」「フリースクールへの財政的な支援につながる」等の賛成意見が出る一方、「フリースクールの第二の学校化・規制等が始まる」「補助金をもらうことで自由を失う」等の反対意見が出ています。また、不登校生の96%と大多数を占める、フリースクールに行っていない不登校生の団体からも「国・学校からの支配、介入が強まる」「学校復帰が強調され、さらに傷が深まる」との強い懸念や反対の声が上がる等、当事者たちの中で、賛否が激しく分かれ、混迷を深めているところです。

チアとしては、上記の「許認可制の削除」のほか、制度化されれば、令状なき住居の侵入が良しとされるところだった「家庭訪問によるチェック」等が、条文から削除され、ほぼ現状通りということで、とても感謝しています。ただ実際の施策・運用段階等で、「家庭訪問の制度」等が強化、あるいは復活されたりして、立法チームの議員の皆さん方も意図していない「介入・強制」的な方向に行かないように、今後の国会での委員会での質疑応答等に向けて、働きかけをしていく必要を覚えています。そのあたり、私たちの案を文書にしての提出を何人か関係議員が求めて下さり、現在、準備しています。良き提案ができるようにお祈り下さい。

また「多様な教育」が認められていく時代を見据え、引き続き、ホームスクーリングの日本での17年余りの実績と憲法から見た法的正当性と根拠、海外の法制の40年の歴史等の啓蒙、既に複数の元文科大臣らも提案・賛成下さっている「届出制」等についても、長期的な視点をもって、情報提供を続けていければと思っています。

## 716名の衆参全議員へ『チア・マガジン』贈呈

そうした中で、『チア・マガジン43号』を、衆参全議員に贈呈させていただきました。目的は、①この問題の本質である「多様な教育」のあり方そのものについて、深く関心を持っていただくため、②憲法に定められている普通教育の確認、17年に及ぶ日本でのホームスクーリング、また40年余りの海外の展開の情報提供、そして③116ページに掲載した「基本的人権・個の尊厳と神の

愛とキリスト」ほか、各ページで、キリストの福音の情報を受け取ってもらうためです。

昨春以来、法案への対応をめぐる、アメリカでは、HSLDAの弁護士チーム、日本では、国会や中央官庁エリアである千代田区永田町で活躍されているベテラン弁護士の南木武輝弁護士らに相談させていただき、進めてまいりました。

南木弁護士からは、以下のうれしい文面をいただき、国会展開や長期的展望をアドバイスいただいております。『チア・マガジン43号』の原稿を読んで下さった上で、国会議員への贈呈について以下の助言を下さいました。

「各議員との面談の原稿などを拝見しますと、チアの皆さんの提案は、子どもたちの教育についての核心をついており、揺るぎのない立場に立ちながらも、それぞれの議員の考えも尊重しつつ意見交換をされていることがよく分かります。ここまでの活動を積み重ねておられることは、大変なことであり、心から敬意を表します。(中略)

必要なのは、子を就学させられない親、現在ある学校への就学以外の選択をする親に対して、社会的支援をしていくということであり、届出制により、親が子の教育を行うことに対し、憲法26条の『普通教育を受けさせる義務』を果たしつつあるものとして、子に不利益を与えない、ということだと思います。届出制を認めさせることは、

非常に難しいと思いますが、将来のためにも、認可制に反対し、届出制を主張され続けることが重要です。ここまで関わってこられたのですから、2冊のマガジンを衆参全議員らに送付する案が実行できたら、それなりの意味はあると思います。ここでまいた種は、将来につながると信じます。とりあえずの感想を述べました。重ねて敬意を表しつつ。(東京都千代田区永田町 南木武輝 弁護士)

(南木弁護士からいただいたお手紙の全文は39ページに掲載しています)

### 河村元官房長官からの推薦のことば

このマガジンを、忙しい議員たちにどうしたら手に取って読んでもらえるか、アイデアを祈り求めていました。下村博文前文科大臣との個人面談を終えた日、伊澤聡一郎さんと私は、民進党の田島一成議員の土岐秘書を訪ねました。記事を掲載したチア・マガジン43号をお持ちし、御礼とアップデートをさせていただくためです。

衆参全国会議員に贈呈する案を伝えると、「とても良い案だと思う」と賛同してくれました。「その時に、中核になっている議員の皆さんの言葉添えとかあるといいけどね。どうしても郵便物だけだと、秘書の段階でストップしてしまうケースも多いので。たとえば、河村会長とかの推薦となれば、目に留まり、読んでみると思うけどね」。なるほどと思いました。

社会党時代以来、30年余り代議士秘書を務めている土岐秘書ならではの良きアドバイスです。

幸い、河村会長(超党派フリースクール等議連、元官房長官、元文科大臣)からは、1月末の朝食会にお招きいただき、そこで全議員への贈呈案を相談させていただきました。河村議員は「これは立派な本になりましたね。全議員に贈って下さるのは良い案ですね。これが配られたらとても良いね」と励まして下さっていました。それで、河村会長が立法チーム会議



ジョイランにて

に来られた時に、推薦文の案を伺ってみることにしました。

河村会長は忙しく、会議は中座されることが多いので、僕も出口に近いところに座り、河村会長が出ると同時に、中座し、次の予定に向かう河村会長と一緒にエスカレーターに乗って、お願いをしました。

「議員 716 名へのチア・マガジンの贈呈で、このような推薦文をお願いしたいのですが」「(河村議員) あ、いいですよ」「文章案は 3 つ考えました。どれがいいでしょう?」「(河村議員) うーん、それはよく読んでみないと」「では、これお渡ししますので」「(河村議員) あ、もらっていいですか。では、読んでみます」「よろしくお願いします」。それで、車に急いで乗り込んだ河村会長を見送りました。

翌週、議連の総会があり、それまでにマガジンの紹介文や河村会長の写真をデザインした案を準備しました。会議を中座した河村会長を再び追いかけて、エスカレーターに同乗して、3 種類のデザイン案を説明しました。

「この中で、どれがいいでしょう?」「(河村議員)

うーん。ちょっと考えます」「分かりました。では、お渡しします。よろしくお願いします」

それから 2 週間、面談の時間はなかなか予約できませんでした。「今回は無理なのかなー」。そう思った時、秘書の中内さんから面談のスケジュールが取れたと連絡がありました。

神さまの奇蹟が進んでいるんだなーと正直、思いました。チア・マガジンは、「クリスチャン」や「聖書」を正々堂々と打ち出したマガジンで、「ホームスクーリング」の啓蒙と励ましのマガジンであり、今号の内容は、「教育委員会の許認可制等、旧座長案には対峙し、別案を提案」しつつ、各議員の皆さんと面談を重ねてきたマガジンです。本当によく OK 下さったなーと思い、心から感謝すると同時に、これは神さまの祝福に満ちた新しい業が進んでいるのだと思わざるを得ませんでした。

結果として、河村建夫会長が推薦文を書いて下さるといふ特別な計らいを賜うことができました。封筒には、以下のキャッチコピーがデザインされました。

「30 人余りの議員 (河村&小坂&塩谷&馳 現

贈呈

「チア・にっぽんマガジン 43 号

—— 多様な教育機会確保法案特集号 ——

▶ 30人あまりの議員 (河村&小坂&塩谷&馳 現 / 元 文科大臣、細野 民進党政調会長 / 笠 座長代理 / 林久美子 事務局長 田村智子 幹事ほか)、関係者らと40回の個人面談等収録

▶ 河村建夫超党派フリースクール等議連会長 推薦のことば入り!

次号は、丹羽 座長、下村 前文科大臣、浮島 幹事ほか 登場! (5月贈呈予定)

 CheaJapan 「親の心を子に向け、子の心を親に向けて」

チア・にっぽん

189 - 0013

東京都夏村山市栄町1-5-4-103

Tel 042-318-1807 Fax 03-6862-8648 www.cheajapan.com



全国会議員に贈呈した時の「推薦のことば入り」等の情報付きのデザイン封筒。

／元文科大臣、細野民主党政調会長／笠座長代理／林久美子事務局長／田村智子幹事ほか）、関係者らと40回の個人面談等収録」と表記し、「河村会長の推薦のことば入り！」との文字と写真もデザインしました。また、次号44号に掲載予定の「丹羽座長、下村前文科大臣、浮島幹事ほか登場！」とし、「親の心を子に向け、子の心を親に向けて」とマラキ4:6の聖句を記載しました。

封筒内には、本誌に掲載されている議員の皆さんのリスト、また次号44号に掲載予定の下村博文前文科大臣、丹羽秀樹座長（元文科副大臣）ほかの皆さん、また、森喜朗元総理が「ラグビー イン エデュケーション」について語って下さった記事も掲載予定と記述した手紙を同封しました。そして716名、衆参全議員への贈呈が敢行されました。

### 細野豪志議員の太田秘書さんより

昨年来、度々お世話になっていた、細野豪志議員の秘書、太田智士さんを訪ねると、とても歓迎して迎え入れてくれました。安保法制の激論で最もお忙しい時期にも、様々な相談に乗って下さり、的確なアドバイスを下さった一人です。

太田秘書さんは、「(マガジン) ずいぶん、良いのができましたねー」と話してくれ、細野議員の掲載ページを読み直しながら、細野議員の母校であるミッション系の近江兄弟社中高の関連記事に目を留め、「(NHK 朝ドラの)『あさが来た』で、近江兄弟社のヴォーリズさんの話が出ましたね！」と話して下さり、うれしかったです。「そうですね。ヴォーリズさんも影響あるのですよねー」との話から始まりました。

「(太田秘書さん) 大方の議員の気持ちとして、何か問題ありそう、何かせねば…とっていたが、でもよく分からなかったというところだったと思います。そこに、稲葉さんたちがしっかりと説明してまわってくれて、実情や問題点が分かったので、



ジョイラン 5キロ走・給水チームも活躍

とても良かったのではと思います。それで議員たちの中で、安心感が広がったと思います。少なくとも私にとってはそうです。お陰で状況がよく分かりました。また今も、『どうなんだろう？ これまでの制度が崩れてしまうのでは…』との思いを持っている議員たちはいるでしょう。それで、もうしばらく時間はかかるだろうけど、忍耐強く説明していけば、大丈夫なのではと思います。とにかく、既に、文部行政の中心メンバーのすごい議員たちと会われているので、その関係を大事にし、今後も強めていくのがいいのではと思います」との提案でした。具体的に書いてあった、今後に向けての微調整案4（チア・にっぽん試案4）も、方向性としていいのではとのことでした。

### なぜ、改憲勢力のリーダーたちも行動するのか？

皆さんからは多くの励ましと応援コメントをいただきました。その一部を36～38ページに掲載させていただきましたので、ご覧下さい。その一方、今回、1本だけですが、以下のような懸念の電話、ためになるコメントもいただきました。

こうした懸念コメントも、皆さんにさらに説明できる機会が与えられることにもなり、心から感謝しています。以下、質問のポイントです。

「(Eさん) なぜ、改憲勢力のリーダー的な人々と会って、話を進めているのですか。日本会議等に属する彼らのバックグラウンドを知っているので

衆議員・参議院議員会館にて、  
党派を超えた面談の日々が続く



すか。共産党、社民党議員も掲載されているが、そのスペースはわずかだった」とのことでした。

電話を受け取った能登麻里スタッフが「マガジンの記事を読んで下さっておられますか」と伺ったところ、「ごめんなさい。まだざっと目を通した程度で…。議員さんの写真を見たら、それだけで抵抗感が出てきてしまって…」とのことだったそうです。そこで「ぜひ、読んで下さい」が最初の説明でした。良い質問、感謝です。質問のお陰で解説できます。今回の面談&提案活動は、まさに党派を超えています。目的は3点あると思います。

### ①超党派・教育政策に尽力して環境整備を！

まずチアは、政治的な団体ではないので、一般の政策の是非等、基本的にタッチしません。ただし、ホームスクーリング（多様な教育）・教育政策・施策等については、チア・にっぽんに神さまが与えられた使命に大に関わることであり、神さまの導きと祝福と知恵を求めつつ、最大限、取り組みます。自民党も民進党も共産党もなく、まさに超党派の姿勢で接しています。

### ②衆参議員・文科省・関係者の皆さんに 福音の情報と祝福の祈りを！

全議員、秘書さん、文科省の皆さん、クリスチャンではないほかのフリースクール等の皆さん、メディアの皆さんほか、すべての皆さんに、キリストの愛と赦し、希望の福音の情報を分かち合いたいです。「全世界に出て行って宣べ伝えよ」です

ね。それはチアとして、あるいはクリスチャンとしての根本的なミッションです。安保問題も改憲問題も、今回の法案への賛成・反対といった立場や思想もまったく関係なく、すべての皆さんは神さまから愛されていて、特別に大切な存在です。キリストは、すべての人々の自己中心ほか、的外れな歩みの罪を、十字架の上で身代わりになって引き受けてくださいました。すべて、一人ひとりのために。その福音を、無償かつ無条件の贈り物として受け取られるよう、全員の心の扉をノックされています。それは、政党、思想、信条に関わらず、すべての人々に必要な情報です。

その情報を届けたいという願いもあります。

感謝なことに、これまで出会った皆さんは、チアのマガジンや、チアから刊行した三浦綾子さんの絵本『したきりすずめのクリスマス』を感謝して受け取って下さいます。「頂いていいのですか？うれしいです。この絵本、今晚、必ず読みます」と言って下さった議員の皆さんは一人、二人ではありません。皆さんに、ぜひ、これまで出会った人々、また、これから出会う人々への神さまからの祝福を祈っていただければと思います。

### ③ホームスクーリングの歴史・経験や 聖書を踏まえた「個の尊厳・自由」 「基本的人権」を守るための意見や 新提案は積極的に届ける！

「すべての人を敬いなさい」(1ペテロ2:17)  
「すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい」(1テモテ2:1)

43号のマガジンを読んで下さればお分かりいただける通り、面談は、激論のケースもあります。前回の座長であった馳浩文科大臣との面談もその一つで、「教育委員会の許認可制度はおかしい」といった反対意見を率直に、論理的に伝えていきます。いわゆる「先生が頼りです。なにとぞ、よろしく願います」という「陳情」ではな

いわけです。議論の緊張感、テンションはとても高かったです。

でも、馳文科大臣の偉いところは、まず、とても忙しい中に、個人面談の時間を度々、長時間取って下さり、反対意見の根拠にしっかり耳を傾けて下さったこと。困った家族を助けたいとの思いに満ちて行動されていること。ほかの議員、関係者の皆さんとの検討の結果、私どもの主張部分から5箇所を取り入れる形で修正下さったこと。

また、インタビューは座長時代に行われ、編集・出版のタイミングでは文科大臣であり、原稿案の掲載許可をもらう時には、若干の懸念がありました。フリースクール関係の人々から、「以前のような関係での話し合いはできなくなった」との情報も飛び込んできました。でも馳文科大臣は、渡した原稿案を「原稿案のままでOK！」と一発許可を下さいました。心から感謝でした。

また「議員20周年記念パーティー」に招いて下さり、「稲葉さん、これから、よろしく頼みますね」としみじみおっしゃって下さり、とてもうれしく思いました。

今後も聖書的に、誤った法案のポイントや懸念はストレートに伝え、また、良案への提案を積極的に展開できればと思っています。

以上、主に上記の3点の指針・目的のもとに進んだ240日間のドキュメントが、43号でした。神さまは不思議と党派を超えて、文教族の議員、元・現文科大臣らとの扉を開き、出会いを与え続けて下さっているのが現状です。

多くの皆さんが、とてもポジティブな反響を寄せて下さり、感謝ですし、とても励まされます。でも、今回のEさんのように、ネガティブに感じた声もまた、実はとても大事であることを教えられています。その質問のお陰で、今回のように、深い背景を解説するチャンスの提供につながりました。

国会からのレポートは新鮮なことで、皆さんへの報告の方法で、不十分なところもあると思います。その意味で、今回のような懸念の声もありがたく、私たちは心から感謝して受け止めていますので、どうぞ、積極的にお寄せ下さい。



下村博文 前文部科学大臣  
自民党総裁特別補佐

## 試練は、この上もない喜び（ヤコブ1:2）

ホームスクーリングは、なかなか理解されにくいですね。でも最近思うことは、理解されないこと、不条理な扱いを受けたり、困難・苦難・試練が訪れたりすることは、神さまの素晴らしさを知る、神さまの配慮・計画だな—ということです。ヤコブが、「さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい」（ヤコブ1:2）と命じている通りですね。

この16年間、ホームスクーリングに対し、様々な質問・懸念が寄せられる日々だったと思いますが、そのお陰で、どのようなところに懸念を持たれるか、どう答えたら、その懸念は払しょくされるか、勉強の時だったと思います。誤解等が許された故に、逆に、聖書が教える教育の素晴らしさを分かってもらえる方法を神に聞きながらトレーニングされる、神さまからの訓練と備えであった—と実感する日々です。それ故、この1年、議員の皆さんや文科省の皆さんらと面談させていた

だいても、質問の答えやプレゼンの方法に迷うことがほとんどなく、なかなか理解されない時は、逆にチャレンジで楽しく感じる、とても感謝な思いです。聖書にある「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました」（詩篇 119 : 71）との聖句の通りですね。「主よ。あなたは、みことばのとおり、あなたのしもべに良くしてくださいました」（65 節）と 17 年めの今、そのように心から思っています。

### 国家晩餐祈祷会にて

今年はスケジュール的に可能となり、「子ども・次世代」の分野の代表祈祷を、再登板下さいと声をかけていただき、引き受けることにしました。迷ったのは、チア・マガジン 43 号を参加者の皆さん（牧師を中心に、約 400 人と伝えられました）に贈呈して、さらにホームスクーリングの啓蒙を図るかどうかでした。今回は、全国会議員への贈呈に加え、約 1000 冊分余り、余分が出るように印刷していました。内容的にも、今後、学校・教育委員会等との話し合いの時に役立つ目的もあったので、1000 冊残せば、3 - 4 年分ぐらい用いることができるだろうとの思いからです。

お陰様で、15、6 年前に比べると、チャーチ&ホームスクーリングの理解は、クリスチャンの世界では広がってきたと思います。とはいえ、まだ誤解されたり、不条理な迫害を受けたりするケースもあります。これには、まだまだ私たちの広報力不足を感じ、悔い改める思いもあります。

今回も、「贈呈」をどうしようか考えている時に、教会内での不条理な迫害等の連絡が、B 君家族や C さん家族等、いくつかありました。特に、B 君やご両親は、ひどく傷ついておられました。そのようなことはあってはならないと思いました。

それで、パンを水の上に投げるようなものでもありますが、参加予定の 400 人の



青山 周平 衆議院議員・文部科学委員会理事（自民）



丹羽秀樹 座長 元文部科学副大臣（自民）  
林久美子 事務局長 元文部科学大臣政務官（民進）



笠 浩史 座長代理 元文部科学副大臣（民進）

皆さんに贈呈させていただくことにしました。すると、参加者が580名に増えたということで、さらに在庫が減ってしまうので、頭が痛かったです。国会議員の皆さんは、ほとんどノンクリスチャンの皆さんで、伝道の意味もあるので、費用がかさんでも贈呈の意味もあると思いました。しかし、「国家晩餐祈祷会」の参加者の皆さんはほとんどクリスチャンの方々であり、どうだろうかと悩みました。

でも、ここはB君家族やCさん家族のような思いを少しでもさせず、ホームスクーリングの現実とその実、

また、国会での最前線を知ってもらい、現状を打破し、祈っていただくために、思い切って贈呈させていただくことにしました。在庫は400冊余りになってしまいましたが、それが、神さまに喜んでもらえることであろうと思ったからです。

幸い、代表祈祷の機会も与えられていましたので、簡単に法案の説明と意義、多くの議員の皆さんのご協力の中、5つの点が変わっていった現状を伝えつつ、詳細はマガジンを読んで下さり、お祈り下さいとして、「子ども・次世代のために」、皆さんと祈ることができました。日本のクリスチャン・教会内でも、さらにチャーチ&ホームスクーリングの実と祝福、また聖書的な理解が広がっていくようにお祈りいただければ幸いです。

## 石破茂大臣に聞く

### 「救いの証し& キリストと両親に学んだこと」

4月8日に、石破茂大臣とのインタビューの道が開かれ、「私と聖書、そして父・母から教えられたこと」をテーマに、とても良いお話が聞け、感謝でした。

明治時代、熊本バンドと呼ばれ、若者たち35名



国家晩餐祈祷会にて (3月25日)

が聖書に心揺さぶられ、キリストに献身した、霊的なムーブメントがありました。その一人で後に全国・欧米にもインパクトをもたらした伝道者、金森通倫（みちとも）氏は、石破茂大臣の曾祖父です。

金森氏は、当時、欧米で、聖書を神のことばとして受け取らず、「ここは良いけど、ここはダメ」と言った批評神学が流行した時代に、「聖書は全て神のことばである」と警鐘をならしました。「警告伝道」と称して、欧米を周って警告し、2万人の人々が洗礼を受けました。でも「それは金森の業ではなく、神が用いて下さっただけ」と心から明言していたという傑物です。

その後、信仰は石破大臣のお母さん、お姉さんたちに継がれます。チアの自己紹介を兼ねて、三浦綾子さんの『したきりすずめのクリスマス』を贈呈すると、とても驚かれ、また関心を示されました。石破大臣は、高校時代、三浦綾子さんの『氷点』『続氷点』『塩狩峠』を愛読されたそうです。そして、18歳で洗礼を受けられました。

今、「自分は間違い多い者です。『神さま、許して下さい。そして、あなたのなせと言うことをさせて下さい』と祈りながら公務に携わる日々」と



贈呈した『したきりすずめのクリスマス』(三浦綾子)を読まれる石破茂地方創生担当大臣

のことです。詳細は、マガジン 45号で紹介させていただこうと思いますが、とても励まされるお話でした。心から主を讃え、また、皆さんと石破大臣を始め、国政に携わる方々への祝福を祈っていたらと思いました。

### チア・サポートスクール第二期へ 人格&勉学の努力の両輪へ

チア・サポートスクールもお陰様で、今年、6年めに入ることとなりました。震災ボランティアで2年余り、特別な訓練を授かり、キリストにある成長にあずかった第一世代がほぼ進学し、ボランティアの衝撃と汗と涙を知らない第2世代が中心です。第一世代で良かった点、また足りなかった点を反省し、活かしていくためのミーティングを重ねています。ますます努力を重ね、成長していければと思っています。

具体的には、通信制も含め全員に、面談と試験を行い、進路希望に合わせて、個別のロードマップを作成し、親御さんが状況を把握し、二人三脚で励ましてもらいながら勉強を進める方法を検討中で、その親子の歩みを、CSSとしても、一層こまめにフォローし、サポートしていく方針です。ロードマップは、標準的なものを作成し、その後、全国の皆さんにも提供できればとも思っています。

す。

霊的な面においては子どもたちの成長は著しいらしいです。しばらくぶりにCSSに行ったある方の報告ですが、「先日、箴言を読んだ後のティーンの子どもたちの発言に、大変、霊的な成長を感じて驚いた。普通の教会や特別集会に来ている若者たちとは全然違った。こう言えば大人が喜ぶだろうという発言ではなく、心から、本質に迫る発言をしていた。これが、ホームスクーリングの特別な教育の成果なのか…と改めて思われた。今後が楽しみ」とのことでした。

こうした霊的な成長を主軸にしつつ、この世の塾・予備校で真剣に努力・勉強している学生たちの良い面も真摯に活かし、両輪の勤勉さ・努力で挑戦を続けていければと思っています。お祈り下さい。

全国各地から進路のうれしい便りも届きます。チャーチ&ホームスクーリングで育った子どもたちが、神と親を愛し、福音を持って出ていく姿を期待して、祝福を祈っています。

### 人に望みをおかず(ミカ5:7)、 神に望みを(1テモテ4:10)!

様々な出来事が続く中で、示されることは、主に頼ることの喜びです。

「ヤコブの残りの者は、多くの国々の民のただ中で、主から降りる露、青草に降り注ぐ夕立のようだ。彼らは人に望みをおかず、人の子らに期待をかけない」(ミカ5:7)。

患難に耐え、苦難に鍛えられて、生き残った民の特徴は、人に頼らず、主に望みをおき、期待し、より頼むことでした。5月から10月まで雨の降らないイスラエルでは、「主から降りる露や、青草に降り注ぐ夕立」は、まさに生死を左右する水分です。様々なプレッシャーや困難があっても、動じることなく、人に頼らずに、主キリストに頼って歩むことは、いのちの水となる朝露や夕立のようだというわけです。キリストにますます信頼して、皆さんと一歩一歩、歩んでいければと思っています。「人に望みをおかず」(ミカ5:7)、「神に望みを」(1テモテ4:10)おいての歩みです。

そして、大胆に福音を証ししていくために、皆さんと共にその歩みを重ね、日本全国、そして、全世界に福音を届ける、その一助とさせていただけるよう、一緒に、日々、祈っていただきたいと思います。「私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です」(ローマ1:16)、「神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です」(2テモテ1:7)とある通りです。

聖書に立つ教育も、山あり谷ありだと思えます。上記の「コミュニケーションセミナー」で、最後に用いたのは以下の聖句です。私たちの意志というよりも、神から選ばれ、任命され、遣わされている事実の認識です。期せずして石破茂大臣のメッセージにも盛り込まれた聖書の言葉でした。

「あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです」(ヨハネ15:16)。

達成する力の源泉は、イエスさまの血潮と恵みであり、聖霊の力であることを教えられる日々



です。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります」(使徒1:8)とある通り、地の果てにまで、私たちや子どもたちが遣わされることが可能になっていきます。神さまの恵みと憐みの中、どんな困難があってもめげずに、ネガティブにならず、主にあって、Be Positive! で、歩んでいきましょう!

コンベンションもいよいよ2ヶ月を切りました。今年度も、皆さんへの良き情報提供となり励ましの時となるように心を尽くして臨めればと思っています。どうぞ、皆さんのご参加とお祈りをよろしく願います。

皆さんへのますますの祝福を祈っています。

稲葉 寛夫

# 親と子のコミュニケーション セミナーアンケート♪

\*\*\*\*\*大人\*\*\*\*\*

●コミュニケーションが苦手でも、イエス様を信じ祈り求め行動していけば、必ず道が開かれると励ましを頂きました。能力や技術ではなく信仰なのだと思います。すもう、ボクシングなど、稲葉さんのご家庭で実践されていることを教えていただけたことが良かったです。

最新のマガジン、巻頭の成人した若者たちの証が素晴らしかったです。励ましを頂きました。本日のセミナーを開催してくださりありがとうございます。

(埼玉 Aさん)

●とても、ためになりました。参加できて感謝でした。子どもたちも一緒に聞いたこと、子どもたちにもわかりやすく教えてくださり、今日から実践できることが沢山あって良かったです。ありがとうございました。

(東京 志賀麗子)

●なかなか聞けない分野の話で大変良かったです。「子犬の様に」と「挨拶」が印象的でした。これからもよろしくお願いします。

(Bさん)

●具体的ですぐに実践できそうな内容でとても勉強になりました。私はいつも口で失敗することが多く、「今日も失敗した～」と反省する事ばかりですが、聞き上手になる秘訣、相手の必要を理解する

ことなど学べて良かったです。

(埼玉 Cさん)

●Be positive、わかりやすいフレーズでした。コミュニケーションの実践例を示してくださったのが良かったです。多様な教育機会法案の引き続きの情報アップデートをよろしくお願いいたします。尊いお働き、感謝いたします。

(東京 菅野律哉&幸)

●良かったです！！Be positiveから始まる3つのポイント・3つの「C」・リサーチすること・相手の必要に応えること等、大いに参考になりました。感謝します！！期待以上でした！！子どもたちに分かち合いたいです。

(東京 Dさん)

●稲葉さんのこれまでの知恵袋みたいで面白かった。男の子との遊び方を教えてもらえてよかった。ボクシングのやり方がわかりました。腹筋をたたかせるのは、自分のトレーニングにもなるので良いアイデアだと思います。お忙しい中イベントを組んでくださって感謝しています。

(東京 志賀信泰)

●具体的なお話や、子どもたちとの接し方の表現がわかりました。失敗例が聞いてよかったです。セミナーがあると励まされるので、定期的であれば良いなと思いました。

(東京 関知香)

●このようなテーマでのセミナーは初めてで、大変参考になりました。普段何気なくやっていたり、何となくうまくいかなかったりしていること、そこに着目し、原因や改善点に気付けたように思います。自分自身シャイで、自信がなく、恐る恐る人と接したり、避けることがあります。あれこれ後悔したりもありますが、それが自己中心の罪であるというのは目から鱗でした。「恐れ」というものに気を付けようと思います。セミナー中、子どもたちが親といる、静かにする訓練の時になり感謝です。いつも全力で仕えてくださっていることを感謝します。

(埼玉 菊池あかり)

●日常的な話(例)が多く、自分の生活に取り入れやすいと思いました。Be positive！を実行したいと思いました。子どもへの教育は、やはり親の生きざまを見せることが大切なのだと思います。

(東京 北尾ゆき)

●良いポイントを教えてくださり感謝です。自分自身も探られることもあり、頂いたメッセージやみことばを思いめぐらせながら、また、祈りながら、歩みたいと思います。

(東京 赤津裕治)

●Be positiveというキーワードが心に残りました。「おみやげ」が大切ということが心に残りました。

(Eさん)

●久しぶりに稲葉さんのセッションを聞いて良かったです。生の声というか、飾らないトークで大切なポイントを教えられました。ホームスクーラーの皆さんとお会いできたのも嬉しかったです。主と交わりつつ関わろうとする姿勢が改めて大切だと感じました。

(Fさん)

●勉強になりました。みことばと共に、実践的な事も教えてもらえてイエス様こそベストコミュニケーターだということがわかりました。私は自分がコミュニケーションが苦手だと思っていて、そのような私でも良いコミュニケーターになれると言われ、嬉しかったです。いつもチアにっぽんのマガジンや、ニュースレターの写真がとても良いと思って見えています。

(東京 北尾乃亜)

●わかりやすく、とても楽しく学べました。何となく理解していたことを再度確認できて良かった点もありました。教会で直面している問題、課題にも適用できる内容で、参加できて感謝でした。ナレーションで済まされるような状況を聞き出すだけでなく、感情を受け止めてあげることが大切であることを改めて確認できて良かったです。(東京 赤津めぐみ)

●コミュニケーションが苦手だと考えていましたが、相手のことを考えて、神様に感謝して接する事なんだ…と基本的なことに気付かされました。NHKでのお話や、議員や大臣とのミーティングなど、色々なお話を聞くことができ、貴重な時間でした。色々な体操や、体を使った親子のコミュニケーションも教えていただけて良かった

です。さっそく家でもやってみます。久しぶりのホームスクーラーの集まりで、とても感謝でした。このような会を設定してくださってありがとうございます。

(東京 藤原樹里)

●セミナーの合間に、親子体操もあり、子どもも飽きることなく、楽しく集中できました。感謝でした。Be positive、3つのCなど、本当に当たり前のことでありながら、罪人なので、出来なかつたりすることもあるので、このような形で聖書を開いて、明確に語っていただけるのは、とてもありがたいです。

(東京 Gさん)

●すべてのことを通して多くのことを教えられました。本当にありがとうございました。特に、ダグ・フィリップさんの奥様の① Be positive、②大きな声で挨拶、③お礼をきちんと言うことが大切。Good Communicatorであるイエス様ご自身から知恵を頂くことをあきらめずに、祈り求め続けることを教えられて、とても励まされました。ありがとうございました。

(東京 亀井賢哉)

●コミュニケーションは、神様とのつながりが第一で、神様に喜んでいただけるようにすること、Be positive!、挨拶の重要さなど、コミュニケーションのポイントを学べて感謝でした。次の日の朝、家族で「おはようございます。」と元気に挨拶できました。これからも実践していきたいです。セミナーの時間にジョセフ君との体を使ってのコミュニケー

ション実践編があり、楽しかったです。うちのやんちゃな子どもたちも最後まで席についておとなしくできたことも感謝でした。友達ができてよかった。

(東京 堀井ユリ)

●人とのコミュニケーションが苦手で、多くの課題を持つ私にとって、本当に必要な内容でした。自分の現状を見て、やっぱり駄目だとあきらめたり、悲しんだり、精神的に閉じこもったりしがちでしたが、そういう態度が自己中心の罪であること、自分を見るのではなく、全ては神様のご支配の中にあることを覚えて、神様に求めて祈ることを教えていただき、希望が与えられました。子供たちが若い頃からこういう姿勢を身に付けていけるよう、家族で教え合い、励まし合っていきたいです。

(東京 Hさん)

●セミナーに参加でき本当に良かったです。コミュニケーションが



もっと上手になりたいと思ってはいても、自分のどこが、どう悪いのかわかりませんでした。でも、今回のセミナーの中で、沢山のポイントや心がけることを教えていただきました。特に、稲葉さんにアドバイスをしてくださった方々の言葉を教えていただけたことがとても良かったです。

(埼玉 Iさん)

●私は今まで人と話すのが苦手でした。つまりシャイで人からどう思われるかがいつも気になっていました。でもコミュニケーションセミナーに参加して、それは自己中心の罪の状況となることがわかりました。また、3つのCのポイント「Compassion, Communication, Conviction」などいろんなお話をして下さり、心を打たれ、みことばにも触れられ、あつという間の三時間で有意義に過ごすことができたことを感謝しています。ありがとうございました。この学びをしっかりと覚えて、相手の気持ちを考えながら、コミュニケーションしていきたいと思えます。(Jさん)

●活気があり良かった。今後の家族とのコミュニケーションの取り方の参考になった。

(埼玉 Kさん)

●先日はお忙しい中ありがとうございました。具体的で、ためになりました。シャイが無礼になっていくというお話、「あるある！」という感じでした。去年、乗馬クラブの先生に、媚びるのが嫌でその失敗をし、冷や汗ものでしたが、挨拶や、感謝を心がけたいと思います。セミナー後、娘が小さい男の子たち5人位相手に、チャンバラをしていたそうで…、大きくなったなあ、と思うと同時に、まだ

お若いご家族の方々に参加されているお姿を見ると、こちらにも励まされますよね。

(神奈川 Lさん)

\*\*\*\*\*こども\*\*\*\*\*

○すごくよかった。3つのCや、コミュニケーションで大切なことがわかり良かったです。今日学んだことを日々のコミュニケーションに活かしていきたいです。

(埼玉 Mくん)

○とても印象深く、色々なことが学べてとても良かったです。神様がどんな時にも僕たちを励まし、なぐさめ、助けてくださっているから、僕たちは何も恐れることは無いということを感じました。ありがとうございました。

(東京 志賀雄信)

○私にも学びやすかったです。Good コミュニケーターになる3つの秘訣をちゃんと実践していきたいです。(埼玉 Nさん)

○今まで「相手に焦点を当てるべきだ」ということはわかってはいても、具体的な方法がよくわかっていませんでした。けれども、今回のセミナーの中で、「相手にしかなできないこと」に焦点を当てるということを知ったことにより、自分がこれからどのようにして、相手に焦点を当てればよいのかわかりました。1.「人にどう見られているか」と考えて後ずさりしていることは、「自己中心の罪」になるということ。2. 否定的な考えや、文句には気を付けておくべきだということ。自分が罪だと思っていなかったことが、造り主にとっては重大な罪だということ

が分かりました。このようなセミナーを開いてくださってありがとうございました。

(埼玉 Oくん)

○良かったです。「こんにちは」、「おはよう」とかじゃなくて、「おはようございます」と外でやったら、全然違うと言っていたけれど、その通りだなと思いました。

(Pさん)

○心に残ったことが日曜礼拝より沢山ありました。恥ずかしいというのは、悪い意味で罪(自己中心)であるというのがわかった。仙台のサマーキャンプこれからも続けてほしいです。(東京 赤津憐実)

○みんなでチャンバラできて楽しかった。(東京 堀井大使)

○新聞紙で戦いができて楽しかった。(東京 堀井陽)

○とても勉強になりました！特にネガティブなことを言わない、いつもポジティブでいる、ということ聞き、確かに友達が多い子や、人気がある子は、あまりネガティブなことを言わない、いつも明るい、と思いました。簡単に出来ることではないけれど、意識して変えていきたいなと思います。又、お話を伺って以来、最近意識して挨拶やお礼を言うようにしているのですが、それでも言い忘れてしまったり、恥ずかしくて言えなかったり、当たり前のことだけれど、実はとても難しいんだな…と感じています。とても良かったです。チアのコンベンションやキャンプなどでも、こういった内容のセミナーを中高生向けにやってほしいです！

(東京 Qさん)

# チア・コンベンション2016

大阪：6月3日（金）、4日（土）

大阪府羽衣青少年センター

（大阪府高石市羽衣公園丁）

東京：6月10日（金）、11日（土）

国立オリンピック記念青少年総合センター

（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

家族・教育の聖書への回復！ どなたでも大歓迎です！

昨年参加 750名！ 講師約35名、約70の基調講演・分科会！

★ 聖書が教える教育の本格派コンベンション ★



講師：Brian Ray

ブライアン・レイ 博士

オレゴン州立大学から科学教育学博士号、オハイオ大学から動物学修士号を取得。中学、高校教師、大学教授等を経て、全米ホームスクーリング調査研究所（NHERI）を創設し、26年余り、代表を務めている。ホームスクーリングの調査研究の第一人者として、全米・世界各国で用いられている。欧米にとどまらず、中国政府からも招待され、政府・中国共産党幹部らにホームスクーリングセミナーを開催している。（研究の一部は、チア・マガジン34号43-48ページでも報告）

\*\*\*\*\* 基調講演 \*\*\*\*\*

◎養育と訓戒 痛みや怒りなく、  
子どもたちを育て、愛するために  
Nurture and Admonition – Not Pain and  
Provocation (raising and loving children)

親として、子どもたちが学術、人格、信仰、身体、すべての面で、最高に育っていくように望まれる方が多いと思います。また、親として、神さまのような同情心を持って、接したいと願ってお

られると思います。私自身、そのように思い、努め、妻と8人の子どもたちをさらに“偉大に”導こうと努力を重ねてきました。しかし、結果として、それにより家族を憤慨させる罪に私自身が陥っていることがあると気付きました。聖書やこれまでの体験を用いて、高い志や期待と、正義、あわれみ、愛を兼ね備えていく方法を分かち合いたいです。母親の皆さんもですが、特に父親たちには、ぜひ、聞いてもらいたいセッションです。

◎ホームスクーリングでよく起こる  
困難と成功の秘訣

## Common Challenges to and Succeeding in Home-Based Education

\* \* \* \* \* 分科会 \* \* \* \* \*

### ●ホームスクーリング調査結果の力 Power of Homeschool Research

これまでのホームスクール研究の概要と、最近のプロジェクトと傾向についてお話しします。学術論文や研究は、友人や、親主導の教育への反対者に用いることができる説得力あるツールです。こうした人々には、しっかりした値に基づく明確な目標や理論をもって啓蒙していく必要があります。今後、進むべきその方向を指し示したいと思いません。

### ●正直になる！

誰が子どもたちを教えるべきか？

Be Honest:

Who Should Be Educating Your Children?

「誰があなたの子どもたちを教えるべきか」という問いに答えるために、聖書のみ言葉、国が推進する教育の状況、公立校の起源、ホームスクーリング研究、経験等から探ります。ホームスクーリングは、神が子どもたちの教育のためにデザインした“初期設定”だという考えに向き合えるよう、全てのクリスチャンの親に大胆にチャレンジします。世界の主要なホームスクール研究者の1人であり、8人の子どもたちをホームスクーリングする父であるレイ博士は、親たちに、子どもたちの人生のつまずきにならないように呼びかけ、警告します（マタイ18:6）。

### ●科学的な能力を伸ばすために Ensuring Scientific Literacy

### ●愛するため、導くために (結婚、伴侶と子どもたち)

Loving and Leading

(on marriage, husbands,  
wives, and children)

夫の皆さん、父の皆さん、今が愛する時、導く時です。キリストが教会を愛したようにです。妻の皆さん、母の皆さん、神が告げられたように、今が夫を愛する時です。子どもたちを養育し、訓戒してください。しかし怒らせてはいけません。これは可能なことでしょうか？そうです。しかし

どのようにしてできるでしょうか？素晴らしく、わくわくするような神のご計画によって、皆さんの結婚生活が栄光から栄光へ変えられていくために、実例や笑い、実用的なアイデアなど、ポイントを突いた挑戦を与えます。聖書のみ言葉やこれまでの経験、30年の結婚生活や8人の子育ての中で学んだことを通して、助けと励ましを与えます。

### ●上流に向かって泳ぐ－水が澄んでくる (大きくなってもホームスクーリングすべき理由)

Swimming Upstream:

The Water Gets Clearer

(Why You Should Continue To Homeschool)

子どもたちが14歳になる頃には（時にはもっと早く）、多くの親が自信を喪失したり、評論家の辛らつな言葉に苦しめられたりします。そして、ホームスクーリングをやめようかと考えます。専門家や学校教育世代の耳障りな声、“公立”の学校のサービスや魅力、現実に対する誤認、何が重要かという世論は、混乱をもたらします。源流に近づけば、心身共に爽快になり、使命と成すべき行動が明らかになります。素晴らしい実を収穫するために、鍵となる教育目標、聖書的な基本理念、研究結果、教育から国を分離することの重要性、長期的なホームスクーリングに焦点を当ててお話しします。そしてご両親を励ましつつ、ホームスクーリングを長く継続していく決意を固くしていただきたいと思います。

### ●どうしたら、自分が教えられると思えるか？

What Makes You Think You Can

“Teach Your Own” ?

まず、「あなたは自分の子どもたちを教えるべきでしょうか？」と問い、このセッションのタイトルである質問へと導きます。ベテラン、初心者、両方の教育者たちを活気づけ、挑戦を与え、励ますために、聖書の教えや、8人の子どもたちを長年ホームスクーリングする父としての経験、教育の専門家としてのアイデア、そしてその研究を用いてお話しします。

### ●世界観入門

－現代社会におけるシステムの激突

Worldview Primer:

Contemporary Idea-Systems in Conflict

講師：Julie Horn

ジュリー・ホーン 女史

チア・にっぽん旗揚げセミナー（2000年）で参加者の魂を揺さぶり、その後の日本のムーブメントに用いられた。チア・コンベンション 2002、2007 主講師。世界最大規模のホームスクーリングコンベンション、チア・カリフォルニア前コンベンション部長&理事。80年代から3人の子どもをホームスクーリングで育てた。チア・カリフォルニア創設メンバー。チア・にっぽん理事。



ジュリー・ホーンさんとご家族

お孫さんのミッシェルさんも、LIT として初参加！

\*\*\*\*\* 基調講演 \*\*\*\*\*

◎なぜホームスクーリング？ 聖なる歩みへの召し  
The Call to Holiness Why Homeschooling?

34年のホームスクーリングに導かれた一人の母の旅路。ホームスクーリング運動の始まりから、自らの孫たちをホームスクーリングするに至るまで。34年前の何がホームスクーリングムーブメントを燃え上がらせるきっかけになり、今日、どのように変わってきているのか。情報社会において、クリスチャン教育がなぜそれほど重要であるのか。34年の時を経て、今神様に教えられていることなど。

◎疲れた親への希望  
Hope for the Weary

ホームスクーリング、育児、結婚、伝道。これらは私たちのスタミナや霊的な力強さを奪い得るものです。しかし、神はそんな疲れた者を心に留め、希望を与えます。

\*\*\*\*\* 分科会 \*\*\*\*\*

●世話を控えて、巣立ちの準備  
- 経済・責任・独立心  
Working Yourself Out of a Job

Preparing Kids for Adulthood (financial stewardship, responsibility, independence)

ホームスクーリングを行う親として、しばしば必修科目を子どもたちに教えることに集中しすぎて、最終的な目標を見失ってしまいます。つまりは世話のしすぎということです。

私たちは子どもたちに、もはや親の手助けと管理を必要とせず、自制でき、自発的で、いつも神を敬い、人生の厳しさにも適切に対処できる自立した大人になってほしいと思っています。このワークショップでは、子どもたちを訓練していく時に見られる共通項を知り、子どもたちが人生におけるあらゆる責任に備える具体的な戦略を与えます。

●喜びに満ちた学習 - スタートを遅らせる・好きな科目優先・教育方針  
Joy Filled Learning  
(late academics, interest directed learning, Educational Philosophy)

「好奇心は、創造力の源です」とも言われますが、好奇心はアカデミックな成功の源でもあります。それでは、どのように、子どもたちの好奇心を保ち、学習過程につなげていくことができるでしょうか。どのように楽しく学び続けることができるでしょうか。このワークショップでは、子どもたちが抱く退屈感の裏にある理由や、どのように燃え尽きないようにするか、幼い学習者たちがもっと興味を持つような学習環境をどのように作っていくか、探っていきたいと思います。

●子どもたちが計画的・生産的に  
動けるようになるために  
Getting Kids Organized so You can be

整理整頓された家、きちんとした学習生活、あなたが最善だと思って立てた計画は、幼い子どもが家にいるだけで、すぐに台無しになる、そのようなものです。どのように訓練すれば、子どもたちが計画的・生産的に動けるようになるのか、具体的に分かち合います。

●社会性を育てるために  
Social Skills for Home Schoolers

社会性は、親族、近所の方々、そして新しいホームスクーラーたちにとっても、しばしば最も心配する点です。しかし、社会性とはいったい何でしょうか。育てるものなののでしょうか。実際自分の子が“社会性に欠ける”ならば、どのように助ける

ことができるでしょうか。

●やる気か、操作か  
- 子どもたちにやる気を持たせる秘訣  
Motivation or Manipulation

ある子どもたちにとっては、勉強や仕事を完了し、やる気を保ち、難しいことや退屈なことをやり遂げることはいつも挑戦です。忍耐しつつ“レースを走る”彼らの助けになる秘訣がここにあります。

●後悔なき子育てのために  
No Regret Parenting

すべてが悪い方に進めばどうなるでしょうか。どのようにしたら、私たちは失敗の感情から勝利へと移れるでしょうか。欠点のある私たちや子どもたちは、どのようにしたら力強く出発し、よい結果を見ることが出来るでしょうか。

【分科会】（五十音順・敬称略）

■負けるな、ホームスクーラー！  
～神様はいつも共におられる～  
（大阪会場） 阿部 俊之&寿子

『保育士になりたい！』夢に向かって歩もうとする娘の前に立ちはだかったのは勉強。周りに気遣いができ、手際も良く家事も大好き。でも勉強が苦手…。そんな彼女が大学受験を決めてからの、試練と恵みと神様のご計画をお話します。  
(寿子)

『不登校生は教育実習できません！』ホームスクーラーの前に立ちはだかった言葉。長男の教育実習受け入れ騒動についてお話します。(俊之)

■「良い行ないを備えて下さる主(エペソ 2:10)  
を見上げて& Grape SEED 活用法」  
（東京会場） 伊澤 聡一郎&恵美

子どもの弱さや罪に気付く時、こんな親のHSだからと自分を責めて落ち込むこともしばしばです。が、それでも悔い改め、思い切って子どもに対する時、主が働いて下さることも経験しています。そんな日常を証しします。後半は、GrapeSEED 開始から5年の経過報告です。普通の日本人家庭で英語環境を作る方法、学習開始年齢によって異なる英語の習得プロセスとフォロー方法等、試行錯誤の連続の5年から得た経験や発見等をお分かちできればと思います。

■「神はそれを良いことのための計らいとなされた。—ヨセフのように—」  
（東京会場） 市川 晶子

HS7年目のシングルマザーの家庭です。長女(19歳)はHSをベースに、通信制の高校で学び、昨春、無事看護専門学校合格。長男(15歳)、次男(13歳)は週一日CSSで学習のサポートを受けています。昨年夏には家族でタイへ伝道訓練旅行にも

行くことができました。私は2年前にヘルパーの資格を取得、訪問介護等で働きながらのHS。沢山の失敗を通して神様から教えられたこと、シングルならではの陥りやすい問題？神様が我が家にして下さっている恵みをお分かちできたらと思っています。

### ■「チャーチ&ホームスクーリング

ー必ず聞かれる20の質問」

(大阪・東京会場)

稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マイノリティのチャーチスクールって？」「週2時間からできるチャーチスクーリング・ホームスクーリングって？」。この16年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

### ■「やっぱりホームスクーリングで

いきましよう！」

(東京会場)

井上 正人&知恵

米沢でホームスクーリング(23歳、21歳、18歳、17歳、7歳の5人)をして13年。7年半前「チャーチ&ホームスクーリングを考える会 in 米沢」を立ち上げ、地道に続けています。現在、一番上の娘はアメリカでバレエの修行中。長男、次男、三男は将来の道を模索しながら、モラトリアムなホームスクーリング生活をしています。これまでのホームスクーリングを振り返って、嬉しいこと、がっかりすることなど、神様から頂いた恵みや葛藤の出来事をお話ししつつ、その醍醐味をお分かち合いたいと思います。ホームスクーリングを始めたばかりの方、これからやろうと考えている方の励ましになればと思います。

### ■「聖書の和敬清寂」

(大阪会場)

大久保 みどり

宣教の土着化は大変重要な問題です。日本のチャーチスクーラー・ホームスクーラーが日本人として、世界人として、天国人として調和の取れた成長をするために、日本文化の神髄の一つとも言える侘び寂びの精神が聖書の中にどの様に秘められているかを探ります。戦乱の血生臭い時代に、何故、和敬清寂の精神が武士から町人、農民に至るまで広く深く受け入れられていったのか、武士道、茶道、聖書の精神に相通じる所があったからではないかと考えられます。真理をつかんで羽ばたいて欲しいと願います。

### ■「子どもに何を教えるか」

(大阪・東京会場)

太田 仁一

キリストは「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」と福音を伝えられました。そして、金持ちとラザロ、賢い乙女と愚かな乙女、畑に蒔かれた良い種と毒麦、地引き網に集められた良い魚と悪い魚、礼服を着ていないで王子の結婚式に出席していた者、主人から預かった1タラントを地のなかに隠しておいた者など、多くの話しをされました。天の国があれば地獄もあるのです。多くの方が滅びに向かっています。私たちは子どもたちを救わなければなりません。4人の子育てを終え、啓明小学校の子どもたちを育てる今、教えられていることを分かち合います。

### ■「これまでも、これからも導いて下さる主」

(大阪会場)

岡田 恵理也&愛

今春、第2子である長女・汀音が学齢期に突入。長男・友基也(8)、双子の男児・虹希、星満(4)を含む4人のHSは新たなステージに差し掛かりました。HSに完全移行して丸一年経つ中で、与えられた気付きやチャレンジ等を、夫婦それぞれの立場からお分かちします。また、各ご家庭で大切にされている心がけや活動、今後の課題なども分かち合ってください、私たちも共に学ぶ時とさ

せていただければ感謝です。

### ■「神の国とホームスクーリング」

(東京会場) 梶山 直樹&志津

「My little group of disciples, don't be afraid! Your Father wants to give you the kingdom. Luke12:32」私たちはホームスクーリングも牧会も「神の国」の視点でとらえていきたいと思い、主の弟子としての歩み・弟子訓練がホームスクーリングだと実感している時に、このみ言葉に励まされました。

私たちは小さな群れだけれど、「弟子の群れ」として主は見てくださっている！主は私たちに「神の国」を与えたいと願っていらっしゃる…それが天の父の心です！神の国を受け継ぐにふさわしい歩みとは？…私たちのホームスクーリングの体験や失敗から分かち合い、励まし合いたいです。

### ■桐山ファミリーのホームスクーリング

～まだまだ続く構造改革編～

(東京会場) 桐山 壘

3年ぶりの分科会。我が家の人口増加、子どもたちの成長と共に日々変革を余儀なくされながら、そこで受けている恵みの数々をお分かちしたいと思います。

### ■「教えるということ…もし愛がなければ」

(大阪会場) ギンター・マイケル&千為子

1. 歴史上の人物・身近な人々から学ぶ両親の生き方

2. 18年間のホームスクーリングを通して子どもたちが教えてくれたこと

親としてかけがえのない子どもたちのために何ができるだろうか。子どもを知り、子どもを生かし、子どもと共に歩み、子どもに教え、子どもと共に学びたい。子どもたちの誰もが、自分自身がかけがえのない大切な存在であるということを知

り、十分に愛されて人を愛する人となりますように。子どもたちの誰もが、自分に与えられた目的と才能・性質と性格を明確に知り、生涯にわたってそれらを用いて豊かな人生を送ることができま

### ■「進路（すすむみち）」

(東京会場) スミス・グレッグ&ともこ

スミス家は、長男小4、次男小2からホームスクールを始めて10年目に入りました。大学受験を終えた祐一郎(18)から、進路を決めるまでの過程と、決めてから今に至るまでのご報告。献士(16)から、高認一旦保留の件と、ドラム、筋トレ、英語(翻訳、通訳)、教会奉仕、バイトなどなどの献士流ホームスクール、中間報告。グレッグと、とも子から、それぞれの子どもたちに用意された、それぞれの「進む路」を見つけるまでの試行錯誤一部始終。

### ■「ホームスクールー折り返し地点で見た風景」

(大阪会場) 竿代 健

長男が3歳の時に主夫となり、ホームスクールに取り組み始め9年目になりました。小学生になる年からはプログラムを組んで正式にスタートし、6年目になります。長男については、ほぼ折り返し地点にきています。取り組む前に、不安だったこと、見えていなかったことー心を育てる、身体を育てる、学力をつける、社会性を育てる、創造性を育てる、好奇心を育てるーなどの項目について、折り返し地点で見た風景をお分かちしたいと思います。取り組む前は、周りの人からの色々な質問にうまく答えられない所もありましたが、実践とともに見えてきたことがあります。できていないことも多いので、課題も含めお話ししたいと思います。

### ■「聖書の記録の驚くべき歴史」

" The Amazing History of

## the Biblical Record"

(東京会場)

Joel Kaufman

4000年前からのイエスキリストの系図について、昨年輕井沢ユニオンチャーチを訪れた何千人もの旅行者に伝える中で、聖書の記録と、神の歴史を通しての奇跡が、1. 神は全ての造り主であること、2. 全知全能であること、3. 歴史に実際関わっておられること、4. 必ず人々を救うために再びこの地に来られること、5. 再び来られこの地に神の国を建て上げるという約束を今も持っておられることを、どんなに立証しているかを知りました。親子両方の信仰が深められ、無神論的なこの世界で、イエスキリストの福音を伝えていく、また違った方法を分かち合えればと思います。

After showing the 4,000 year genealogy of Jesus Christ to 1,000s of tourists who visited the Karuizawa Union Church last year, Joel came to see how the record of the Bible and God's mighty works in history verify that 1) God is creator of all, 2) that He is a person who can see and hear, 3) that He has really acted in history, 4) that He really came to earth to redeem mankind, and 5) that He will keep His promise to come again and establish His kingdom. I hope to deepen the faith of both parents and their children and give them another tool for sharing the gospel of Jesus Christ with a skeptical world.

- 「HSの15年、分かったこと、  
分からなくてもよいこと」  
(東京会場) 高倉 正&幸子

私たちは、横浜の郊外で高校生から三歳まで(二男三女)五人の子供をHS中です。子育てを「建物を建てること」に例えると、私達にとって、HSはその「足場」です。「足場」がなければ建物は建て上げられません。私達は15年間にわたって、試行錯誤しながら、この「足場」を組み立て、今もそれは続いています。皆さま方がそれぞれ奮闘

されているHSのお役に立てれば、という気持ちでお話させていただきます。是非、お越し下さい。

- 「主の一方向的なあわれみ」  
(大阪会場) 田中 照美

ホームチャーチスクールを始めて13年になりました。私たちの、はちゃめちゃんなホームスクールで、神様が一方的にしてくださった恵みをお証させていただきたいと思います。

長女 純花(22歳)大学4回生が休学して、ニューヨークブルックリンで体験させていただいた子供伝道と大学伝道の証と、次女 詩音(16歳)の高卒認定と、プラス面と気を付けなければならない面の両面があるアルバイトの証をします。

- 「子どもに教えるいのちと性」  
(東京会場) 辻岡 健象&敏子

続発する若者の、いじめや殺傷事件、そして自死。同時にいのちと関係する「性の秩序」が完全に崩壊してしまいました。若者間のフリーセックスは、セックスネットのように入り乱れています。10代の若者の7人に1人は、確実に性感染症にかかっていると専門医は言います。

子ども達の素晴らしい未来を築くために、共に集まり、一緒に話し合ひましょう。解決の鍵は必ずあります! 「いのちの尊厳」と「性の大切さ」そして子どもに生きる希望と喜びを与えるために、共に考え話し合ひたいと思います。皆さんとお会いできますことを心から楽しみにしています。

- 「発達障害とホームスクール II」  
『ありのままの姿を楽しむためには』  
(東京会場) 辻 寿&奈央子

発達障害の子どものホームスクールについて分かち合います。障害ゆえの問題、必要な助けと励まし、信仰の歩みについてなど、私たち家族が感じたこと、良かったこと、失敗したことなどを分かち合いたいと思います。特に、ここ数年取り組

んでいる「健康的な自信を築き上げること」や、「兄弟とのかかわり」について話したいと思います。

#### ■「中島家のホームスクール

～新たなステージへ～

(大阪会場)

中島 若樹&啓子

2005年に第4子の誕生とほぼ同時に始めたホームスクールは12年目を迎え、子供は8人(1、3、6、8、11、14、16、18歳)に倍増しました。年齢層が広がり、様々な困難や悩みを抱えながらも、賛美と感謝の思いがあふれるのは神様と共に歩む素晴らしさを感じているからだと確信しています。この春、長男・豊(18)が大学生となり千葉で寮生活、高認をパスした長女・芽生(16)はヘア・メイクアップアーティストを目指して専門学校へと進みます。新たなステージに突入している我が家の様子を分かち合います。

#### ■「ホームスクール～我が家の場合～」

(東京会場)

中山 弘子

信仰と共にスタートした我が家のホームスクーリングは、今年8年目になり、8歳だった息子も15歳になりました。聖書を何度も読み、祈りに祈って始めたホームスクーリングではありませんでした。うまくいかない時も失敗も多いですが、それでも、振り返ると神様の導きが必ずそこにありました。マイペースな息子とのホームスクーリング、私たちの信仰の歩みについて、そして母子家庭の立場からのざっくばらんなお話し等できればと思います。

#### ■「目的を明確にして子どもを教育しましょう」

(大阪・東京会場)

ナタン・ブローマン

すべてのことには目的があります。ホームスクーリングも例外ではありません。私の父は明確な目的を持って教育してくれました。そのことが大きな祝福となった、と今でも感謝しています。子どもは親を選べませんが、親は子どもをどのように教育するか選ぶことができます。私が受

けた教育について皆さんと分かち合いたい、と思います。時間があればどのような質問でもお受けします。

#### ■憐れみの中で続けるホームスクール

(大阪・東京会場)

成瀬 太郎&由紀子

私たちは2008年に初めてチア・コンベンションに参加し、6年を経て2014年からホームスクールに踏み出しました。現在、小6(女)、小4(女)、3歳(男)と家庭で過ごしています。学習面で工夫が必要な子どもの特性を知ってから決意までの経緯、小学校在学からホームスクールを始める際のプロセス、最初の2年に与えられた試練と恵み、現在の勉強方法などをお分かちしたいと思います。よいお手本というよりも、日々の奮闘を率直にお話します。

#### ■アメリカ大統領選挙

The US Presidential Election

(大阪・東京会場)

ピーター・ブロックソム

アメリカ大統領選挙にはどのようなシステムが用いられているのでしょうか？ 予備選挙、党員集会とは何でしょうか？ 共和党と民主党の違いは何でしょうか？ このセミナーでは、予備選と党員集会から始まり、党の公認候補を選出し、主要な党からの公認候補者たちによる戦いに至るまでの、アメリカ政治における大統領選挙のプロセスを説明します。また、この大統領選挙戦における政治課題と、有力政治家たちを見ていきましょう。これらの情報は、クリスチャンと日本に対してもインパクトを及ぼすでしょう。

What is the system used to choose a US President? What are a primary and a caucus? What is the difference between a Republican and Democrat? This seminar will be a US government class, covering the structure of the US presidential elections starting with the caucus and primaries and the party nominating process to the battle between

the two major candidates in the general election. There will also be an examination of the political issues and the personages in this presidential race as well and the impact it will have on Christians and on Japan.

### ■「Good Loser を目指す！」

(東京会場)

藤井 一郎

スポーツには必ず勝つ時と、負ける時があります。さらに、まぐれで勝つ事があっても、まぐれで負ける事はありません。負けをどう受け止めるか？聖書の言葉、メンタルトレーニングを通して、答えを見つけます。

### ■終わりの時代を生きる子どもを育てる

(東京会場)

藤田 桂子

日本が戦争や独裁国家に向かっているこの時、憲法が無力にされ、基本的人権、宗教の自由も脅かされつつあります。クリスチャンとして、どのような子育てをすべきでしょうか？親として、終わりの時代の信仰継承を考えます。

### ■「自分を捨て、主のために生きる」ことを教えるためのホームスクール

(東京会場)

藤本 由美

ホームスクールを始めて10年、現在、峻多16歳、真利花13歳、心恵9歳、愛実7歳、勇多2歳をホームスクーリングしています。10年経ち、変わった自分、子ども達の成長、日々の葛藤、峻多の高認の事などを分かち合おうと思っています。

### ■「英語カリキュラム GrapeSEED の

効果的な学習」

(大阪・東京会場) 藤原 政信 (グレープシティ)

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つであ

る「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネンツから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々により、効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなく、これから取り組みたいと思われる方々もご参加ください。

【チア事務局より】初めての方も参加 OK ! GS は、普通は一般の学校等が契約対象ですが、チア・メンバーの皆さんにのみ、特別に個人学習を OK としてくださっています (入門コース CD 2 枚組 (1080 円 + 送料) を購入いただくと、GS スタート OK です。チア事務局にお申し込みください。ご質問も大歓迎です。

### ■『「高卒認定・大学受験ロードマップ」

大学受験まで」

(東京会場)

堀井 卓 (CSS)

ホームスクールの通過点のひとつに「高卒認定試験」があります。どの範囲をどの程度勉強し、実力をつける必要があるか、今回、小1から高校段階までのロードマップを作り皆様にお渡しいたします。しかし、「高卒認定試験」は、通過点にしすぎません。しっかりと実力をつけるため、また次のステップにつなげるために目標をつくり勉強することをお勧めします。特に、大学受験、資格取得のためには、数年間、集中して勉強する必要があります。

ホームスクーラーが社会に出て、キリストの影響を与え、神の栄光を現すために、一人一人に与えられた賜物をいかに用いるか、10代の時に何をすべきか、何ができるかを共に考えたいと思います。

### ■「堀井家ホームスクール 10 年目」

(東京会場)

堀井 卓

10 年目になりました。5 人の子どもたちをホー

.....  
 ・ムスクールにして良かったこと、失敗したこと、  
 ・こうしておけばと思っていることなど、洗いざら  
 ・いお話しします。毎日の生活、地域との関わり、  
 ・ホームスクーラーとの交わり、勉強方法など具体  
 ・的にパワーポイントで。質疑応答の時間には、何  
 ・でもご質問ください。

■「主に従う子供を育てる」

(大阪・東京会場) マタイ・ブローマン

11歳から3歳、子ども6人の父親です。聖書  
 ・に基づき子育てをし、子どもの心が主に向くよう  
 ・にと祈る日々です。自分の経験、また、父から教  
 ・えられたことを踏まえて、お話を進めていきたく  
 ・と思います。

■「動機！～スタートして12年間～ホームスクー  
 ・リングを(やめないで)継続している～」

(東京会場) 松岡 淳裕&みぎわ

ホームスクリーング(HS)を始めたのは、妻と  
 ・子どもたちに対し「あなたたちを愛している証と  
 ・して」というのが動機だった。あれから12年経  
 ・過し、今問われるのは、何故継続してやり続けて  
 ・いるのか、何故やめないのか、いややめられない  
 ・のか。その動機を語る時に、私自身の生い立ち  
 ・を語らずしては始まらない。私を産み、育ててく  
 ・れた母親は今年85歳。七人家族の我が家に同居  
 ・しひしめき合って暮らしているから、物心が付く  
 ・前と後の記憶&想像(十分な根拠と裏付のもと)  
 ・をたどりつつ、私自身のアイデンティティを形成  
 ・している要素を探る作業をここ何年もしてきた。  
 ・ここに来て、私が受けた養育や教育などなどを思  
 ・い返す時に、私の家族に対して、私がやるべきこ  
 ・と、やらざるべきことがはっきりしてきた。その  
 ・やるべきことの最たるものがHSであるといつて  
 ・も過言ではない。ただ学校に行かせないで家で勉  
 ・強を教える=HSではない。ダイナミックかつエ  
 ・キサイティング、そしてモーストインポート  
 ・であるHSの醍醐味、真髓を赤裸々な体験談を交  
 ・えて、お話ししたいと思う。

■「将来のビジョンとホームスクーリングに於け  
 ・るキリストの弟子づくり」

(大阪会場) 森山 剛&有佳子

この2年間取り組んできた、毎週行っている  
 ・「フェイスタイム(父と子のマンツーマンの時間)」  
 ・によって、子ども達の将来のビジョンが定まりつ  
 ・つあります。神様の恵みを分かち合うと共に、フェ  
 ・イスタイムで使っている「弟子づくりプランシー  
 ・ト」を紹介します。このシートにより、賜物・特  
 ・技・関心・苦手・強さ・弱さなど、将来のビジョ  
 ・ンに対して、キリストの弟子として成長課題と取  
 ・り組みが見えてきます。親子で是非体験してい  
 ・たきたいですが、親御さんのみ、またはティーン  
 ・の皆さんのみでも必験(見)!!今回は娘・佳音(15)  
 ・による体験の証しも予定しています。

■「日本てすごい！」

(東京会場) 吉村 忠敏

東日本大震災の時、給水を待つ人々の秩序ある  
 ・姿が驚きを伴ったニュースとして世界に配信され  
 ・たそうです。考えてみれば、日本は犯罪率も低  
 ・く、比較的にですが、世界で最も安全な国の一つ  
 ・と言ってもいいし、日本の物作りとかサービス、  
 ・それは日本人にとっては当たり前のことでも、世  
 ・界からは称賛の目で受け止められることが多い  
 ・たいですね。10年余りのホームスクーリングの  
 ・日々を経て、子ども達にそんな日本の素晴らしさ  
 ・を伝え、日本人としての誇りを持ってもらいた  
 ・いし、私たち親も日本を見直す必要があるかもしれ  
 ・ないと思うようになりました。特にホームスク  
 ・ラーが日本人としての高い良識を身につけること  
 ・は、本人のため、また日本宣教のため、そして世  
 ・界宣教においてもとても重要なことだと思いま  
 ・す。それは日本人としての優越感ではなくて、神  
 ・様から与えられている特別な責任と使命を自覚す  
 ・るということだと思えます。この分科会がそんな  
 ・「日本人であること」「日本で暮らしていること」  
 ・について考えるきっかけになればいいなあと思  
 ・います。

# 第1回 チア・にっぽん杯 !New! 写真コンテスト

## <応募要項>



◆ テーマ：被写体から見えてくる聖書のストーリー。  
素材は自由です。  
(自然、動植物、人物ほか自由です)

◆ 部門：(1) 9歳以下  
(2) 10-12歳  
(3) 13-15歳  
(4) 16-18歳  
(5) 19歳以上

◆ サイズ：A4サイズ以上

◆ 応募方法：必ず作品の裏に、氏名(フリガナ)、住所、年齢、電話番号、Eメール、写真のタイトル、その写真から見えてくる聖書のストーリー(100字以内)、着払い返却希望の有無を書いて、お送りください。

コンベンション会場で表彰式が行われます！作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナーの会場で展示されます！

## ☆自己紹介&アップデートタイム☆ at 東京コンベンション

《 6月10日(金) 18:45 ~ 大ホールにて予定 》

東京コンベンションにて、初日の夜、自己紹介&アップデートの時を持ちます！  
皆さんをより知ることができると共に、励まし合えます！ぜひこの機会にご参加下さい♪  
各家族の持ち時間(予定)は40秒(or個人:30秒)！  
終了後、各地域ごとのミーティングも計画中。

名簿作成の関係上、参加ご希望の方は、以下の申込事項を明記し、  
Eメール (office@cheajapan.com) または、FAX (03-6862-8648) までお申込みください。

参加者お名前 ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( )

一言アピール欄

## 第7回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール

<応募要項>

- テーマ：聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。
- 部門：(1) 幼稚園の部 (2) 小学生の部  
(3) 中高生の部 (4) 一般の部
- サイズ：自由
- 応募方法：必ず、作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由（100文字以内）、着払い返却希望の有無を書いて、お送り下さい。

**コンベンション会場で表彰式が行われます！作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナーの会場で展示されます！**

## 第5回 聖句書道 掛け軸展

<応募要項>

- テーマ：聖書からのテーマをもとに、内容は自由。
- 対象：どなたでも
- サイズ：八つ切りサイズ
- 応募方法：作品に名前を書き、掛け軸に貼った状態でお送り下さい。

■応募締切：2016年5月26日（木） ■送付先：東京都東村山市栄町 1-5-4-103 チア・にっぽん事務局

**早期申込特典プレゼント！**

**5月6日までに**お申し込み** & **ご入金****

いただいた大人の方に、「聖書

6」「聖書11」「りか2」「マガジン10冊無料券」「ちょっぴりホームスクーリング考えてます？」「チャーチ&ホームスクーリング入門」「夫婦のきずなを強めるために」「日英副読本」「DVD 聖書」「チア図書券1000円分」の中から、いずれか1つを、もれなくプレゼント！

\*券2枚で上記教科書の教師用ガイドもOK！



### 大阪宿泊情報

- 大阪国際ユースホステル（会場内）  
（5月2日までに、チアにお申し込み下さい。  
[定員24名]。それ以降は各自でのご手配をお願いいたします。）

【6名一室：基本的に男女別（乳幼児は別）の相部屋ですが、6名であれば、家族部屋をご用意できます。】

- 宿泊費：1泊2,880円、2泊5,760円  
（添い寝の乳幼児は大人1名につき1人まで無料ですが、施設利用料として300円がかかります）
- 食費：朝食650円、昼食650円、  
夕食1,080円

※6名未満での個室をご希望の場合、  
個室料金がかかります。

### 東京宿泊情報

- 国立オリンピック記念青少年総合センター  
（会場内）  
（5月31日までに、チアにお申し込み下さい。  
それ以降は各自でのご手配をお願いいたします。）

【4名一室：基本的に男女別の相部屋です  
（乳幼児は別）】

- 宿泊費：1泊3食3,310円  
2泊6食6,620円

【シャワー付き個室】

- 宿泊費：1泊3食4,910円  
2泊6食9,820円

※年齢に限らず、ベッドを利用する場合は宿泊費  
がかかります。

※※添い寝の場合でも、レストランの規定で、3  
歳以上は食券代が必要です。

## ♪ ボイス & メール ♪ Voice & Mail

★校長はホームスクーリングなんて一度も聞いたことがないそうで、とっても心配とのことでした。でも、今回校長と教頭にチア・マガジン43号を差し上げることができたので、次回までに読んでくださり、波風を立て続けるより、むしろ見守ろうという姿勢まで学校側も行き着いた上で、私たちもホームスクーリングを出港させられればと願っています。幸いなことに担任の先生は理解があります。

この事を機に、今まで自分は随分学校任せで、親は教育の第一義者であるとの意識は、やはり薄かったなと思われています。いろいろなことを改めて考えさせられる素晴らしい機会を主に感謝しています。チアというサポート団体があり、近くにホームスクーラーのサポートグループもあるので、本当に心強く感謝です。励ましの言葉、とても嬉しく思っています。今後ともさまざまな面でどうぞよろしく願いいたします。

(宮城 Aさん)

★「花かご」は受洗した姉妹へのプレゼントに、「脱出」は子どもたちに買いました。「花かご」は、以前、フリーのオーディオブックを英語で聴いたことがあって、とても素敵なストーリーだなと思っていたので、チアを通して日本語版を見つけられてうれしかったです。バイリンガルの本、とてもいいですね。わたしの周りにも、英語(またはバイリンガル)教育に興味のある方や実践されている方もいらっしゃるので、また機会があればプレゼントなどに購入しようと思いました。

(熊本 Bさん)

★チア・マガジンの送付を感謝します。成人式を

迎えた青年の方々がキラキラしていました。我が家も成人式を迎えるまでに後、2、3歩のところまでになりましたが、ホームスクーリングとしては、やんちゃざかりの3歳児になったばかりです。この3年間、「祈り」ということを、たくさん体験させていただいたことに感謝です。私の祈り、夫婦間の祈り、家族、親子、もう、祈るしかない!という感じでしたが、多くの方々に「祈っていただいた」ことも、たくさん実感した3年間でした。そして、何よりも神様の存在、イエス様が見てくださっていること、聖霊様が働いてくださったことを感じて、鳥肌が立ったことも、度々でした。一番の感謝です。チア・にっぽん、その名の通りに、応援して下さっていることも、なんと大きな恵みなのでしょう!ありがとうございます。皆さんの上に、主イエス・キリストの恵み、祝福が溢れて注がれますように。

(大阪 Cさん)

★ニュースレターも折々の励ましですが、マガジンもすごい励ましです。ゆっくりお風呂に入れる時はバックナンバーを持ち込むのですが(そのため、ふにゃっとなってしまった号もあります)、10年前のものでも新しい発見があったり、こんな時代があったから、今の私たちのホームスクーリングが守られているんだ、と思わされたり、今は大きくなっている子の赤ちゃん時代の写真を見つけたり…。落ち込みが激しいときは、マガジンすら見る気にならないこともあるのですが、開くと「そう!今必要なのはこれ!」と思うことが多いです。国会法案対策号も、今までにない配慮が詰まった一冊だと思います。ますます用いられるようにお祈りします。激務が続いていらっしゃ

ると思います。守られますようにお祈りしています。  
（東京 Dさん）

★いつも尊い奉仕を感謝しています。お忙しい中、コンベンションの準備など、ありがとうございます。家族そろって楽しみにしていますね。

2月18日に我が家に第5子で四男、ホセア(歩誠)が生まれました。7年ぶりの赤ちゃんで、赤ちゃんのいる生活がとても新鮮です。初心に帰って育児、ホームスクーリングしています。去年、中島新くんが誕生されたときに、マガジンに載っていたのを見て、うちも写真送ってね～と生まれる前から、子どもたちからのリクエストがあったので、送らせてもらいました。(下記写真)

6月のコンベンションでお会いできるのを楽し

みにしています。  
（兵庫 Eさん）

★友人からマガジン42号を頂いて、増山さんの記事にとっても感動し、励まされました。その前の3回分の記事もぜひ読みたいと思い、バックナンバーを注文します。  
（神奈川 Fさん）

★いつもステキな証を感動して読んでいます。  
（東京 Gさん）

★思い返しても、チアの働き、みことばに励まされ今があると、心から感謝しています。これからもよろしく願いいたします。次の世代のためにも。  
（長野 Hさん）

★夏に渡米して丸4年が経過しました。以前より示されているホームスクーリングを始めたい



と願っておりますが、まだまだ未熟で、また、時は今ではないのか？などと、迷いもありますが、子どもたちもホームスクーリングに興味があるため、まずはメンバーになり、色々知っていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

(アメリカ Iさん)

★ライフラインTV「三浦綾子さんの『したきりすずめのクリスマス』」の放送を見て、絵本を注文しようとしたところ、その時期は品切れと聞いて、諦めていました。第三版ができたことを聞いて注文します。孫とその友達にプレゼントします。ありがとうございます。(群馬 Jさん)

★年に一度の学校と市の教育委員の担当者合同のミーティングがありました。学校からは、娘

の籍があるクラスの担任と校長が参加しました。会の終わりの方で、教育委員の方から何か質問がありますかと聞かれたので、以前から気になっていた娘の不登校の扱いについて尋ねました。娘は「不登校児」として扱われ、文科省などに報告するときは「不登校児」の数に入れられているのでしょうかと聞くと、市の担当者は、「それは、校長の判断で不登校児とは見なさず、数に入れていない」との返答を受けました。校長は、「あなたたちは家庭でしっかりやっているのだから、それを数に入れたら正確な数字が出ないでしょう」といった主旨で話してくださいました。校長は、私が小学4年生の時の担任で、私たちの教育方針にも理解を示してくださっているのです、主の導きと特別なお取り扱いを覚えながらの面談となりました。(山梨 Kさん)

## 「チア・マガジン 43号」特集 Voice & Mail

●今号のチア・マガジン、新法案が生み出されるまでの、これまでの経緯が詳しく分かり、取り組んでくださった熱意がよく伝わってきました。今月、ちょうど長男が小学校卒業で、学籍を置かせていただきお世話になったお礼の挨拶に行くので、校長（以前、DVD「永遠の栄光を求めて」を観てくださいました）に、今号のマガジンを差し上げようと思います。トップを飾る4人の先輩の証にも、大変心動かされました。これからも、皆様の上に、主の平安とお導きがありますように、お祈り申し上げます。(福岡 Aさん)

●マガジンの43号、良かったです。とても内容が濃かったです。最後の合同総会の箇所は、議員の皆様が、誠実に丁寧に話し合われているのが伝

わってきて、それもとても良かったです。今はまた状況が変わってきていますでしょうか。コミュニケーション・セミナーを楽しみにしています。(神奈川 Bさん)

●マガジン43号とNL、喜んで読ませていただいています。ホームスクーラーのOB・OGのお証から、ホームスクーリングの実を見せていただいたことで、新たに希望と励ましが与えられ感謝です！(岡山 Cさん)

●マガジン43号、感謝です。法案のことが詳しく書いてあり、私自身の理解も深まったし、兄弟姉妹をはじめ、その他の友人などにも配りたいと思っています。また、表紙のすがすがしい若者た

ちの写真もいいです！私たちの周囲の人たちや、私の両親は我が家の子どもたちの将来を心配しているようなので、ここもぜひ読んでもらいたいと思っています。法案のために中心になって労されている稲葉さんをはじめ、その他いろいろなお仕事をしつつ支えられているスタッフ皆様に、感謝申し上げます。また、特にこの法案のために教会にも呼びかけてお祈りしたいと思います。皆様の上に豊かな祝福がありますように。

(熊本 Dさん)

●いつも主にあって誠実なご奉仕をありがとうございます。マガジン拝読しました。チアは初期の頃と比べてイベント数・活動の場が増え、素晴らしいかぎりですね。これらの活動を主が更に祝福して下さいますように、また、多忙なスタッフの皆様の霊・肉が守られますようにお祈りいたします。ホームスクールOB・OGの進学就職も多岐にわたっていて、将来どんな芽が出てくるか楽しみなことですね。

(埼玉 Eさん)

●いや～、チア・マガジン、ニュースレターの発送本当にお疲れ様でした！！本当に素晴らしい出来あがりです。びっくりしています。マガジンが700人の国会議員の手に届いていると思うと興奮しますね。祝福を祈っています。

(愛知 Fさん)

●この前、マガジン最新号が届いた翌日、家から大手町まで息子を自転車に乗せて走りました。途中「国会通り」を過ぎ、皇居あたりでお祈りするにとどまりました。マガジンも、難しい対談を柔らかなコミュニケーションで進めていく様子がわかり、学ばされました。神様が、チアの働き、スタッフの皆様の働きを豊かに祝福してください、また、確実に前進させてくださることを祈ります。

(東京 Gさん)



●チア・マガジン43号、この4月から長男が小学校入学の学年なので、HSスタートのために教育委員会に行く必要があり、そのこともあって、かなり読み込みました。前の国会議員の記事の時には、さっと読んでいましたが、今回の内容は、より、真剣に読むように示され、実際、深く響いてきました。とても説得力があって、分かりやすく、よく理解できました。チアの試案が実際に法案を動かしていったわけですから、本当にすごいことだと思います。教育委員会や学校にこのマガジンを持って行って、見せることができるので、とても助かります。

(群馬 Hさん)

●私も教師を目指しているので、マガジン43号はタイミング的にちょうど良く、一気に読んでしまいました。議員さんたちの表情、日ごろニュースで拝見しているのとは違う顔で、とても印象に

残りました。

(Iさん)

●今号のマガジンを読みました。稲葉さんの話は非常に説得力があり、迫力のある内容でした。

(東京 Jさん)

●マガジン、あちこちで見せています。この働きは本当に大きな意味のあることだと思います。

(東京 Kさん)

●教育機会確保法案の働きありがとうございます。期待しています。

(宮城 Lさん)

●卒業式前に、娘と面談に行き、マガジン43号を、A校長と担任のB先生に15分ほど、説明しつつ、贈呈しました。多様な教育法案について強い興味を示され、先生方は熱心に聞いてくださいました。1週間後、A校長は、チア・マガジンに書かれてあった年間スケジュール等をベースに、娘のためのオリジナルの祝辞を準備してくださっていました。「4月はジョイランニング、6月はコンベンション、8月は仙台でキャンプですね。9月はチア・オリンピックで、11月は白馬セミナーですね。日常生活は、チアサポートスクールが週1日ですね。ずいぶん、楽しい企画があるのですね。」担任の先生もじっくり読んでくださっていて、とても励まされました。

卒業式当日は、10人の先生が参加され、A校長は、祝辞で、上記の活動にすべてふれてくださり、またホームスクーリングの様子を、先生方に、解説してくれました。A校長が熱心に調べてくださり、あたたかいことばで娘や家族を励まし、ほかの先生方にも説明してくださったことに感動した妻は、祝辞を聞きながら、涙を流していました。改めてマガジン43号に、感謝しました。

今回、全国会議員への贈呈用の封筒に、河村元官房長官が、写真入りで推薦のことばを入れてく

ださることになったと伺いました。本当に感謝ですね。国会の中枢に入って行く志、国会議員・法案への神からの力と導き、忍耐と努力、愛、知恵、感謝です。

(東京 Mさん)

●チア・にっぽん43号をお送りくださり、ありがとうございます。お働きが益々主にあって用いられますようお祈りしています。(埼玉 Nさん)

●ハレルヤ。マガジン43号感謝します。内容の深さに感動しています。多くの必要の場に届き用いられますよう、祈っています。ありがとうございます。会費送金します。これからもよろしく願います。(神奈川 Oさん)

●いつもありがとうございます。イエスさまの輝きに輝いておられる青年たち、赤ちゃんの表情、何とすばらしいこと、うれしいことでしょう。チアの国政への取り組み、感謝！じっと目を注いでいてくださる主を覚えます。(埼玉 Pさん)

●とてもわかりやすかったです。こう聞かれたら、こう答えるんだーと参考になるなと思いながら、国会議員とのやり取りをワクワクして読みました。(東京 Qさん)

●「チアにっぽんNo.43」を全部読み終わりました。自分も、議員さんとの面談の場にいるような臨場感溢れる読み方が出来ました。ありがとうございました。続きを読むのが楽しみです。お祈りしています。(東京 Rさん)

## ～永田町 南木 武輝 弁護士 よい～

### 「千ア・マガジン43号 多様な教育機会確保法案特集号」を読んで

各議員との面談の原稿などを拝見しますと、千アの皆さんの提案は、子どもたちの教育についての核心をついており、揺るぎのない立場に立ちながらも、それぞれの議員の考えも尊重しつつ意見交換をされていることがよくわかります。ここまでの活動を積み重ねておられることは、大変なことであり、心から敬意を表します。

千アとしては、憲法26条の「普通教育を受けさせる義務」とは、親に子の教育の第一義的責任を負わせているものであり、就学義務に限局しているものではないという立場に立っているのに対して、馳座長は、憲法の「普通教育を受けさせる義務」とは、学校教育法第16条、17条により、学校に9年間就学させる義務のことをいうのであるから、その例外（就学させないで、就学義務を履行したものとす）を認めるには、個別学習計画に対する認可が必要であるという線は譲れないという立場です。

馳座長（および文科省、法制局）の考える、この法案の立て付けは、就学義務を履行していない親に対し、例外的に就学義務を履行したとみなす手続きを定めるというものである。その根本に問題があると考えます。必要なのは、子を就学させられない親、現在ある学校への就学以外の選択をする親に対して、社会的支援をしていくということであり、届け出制により、親が子の教育を行うことに対し、

憲法26条の「普通教育を受けさせる義務」を果たしつつあるものとして、子に不利益を与えない、ということだと思います。

届出制を認めさせることは、非常に難しいと思いますが、将来のためにも、認可制に反対し、届出制を主張され続けることが重要です。

ここまで、関わってこられたのですから、43号、44号と2冊のマガジンを衆参全議員らに送付する案が実行できたら、それなりの意味はあると思います。ここでまいた種は、将来につながると信じます。とりあえずの感想を述べました。

重ねて敬意を表しつつ。

弁護士 南木 武輝



馳浩 文部科学大臣との2度目の面談後。自民党広報本部長室にて。  
右は桑谷美穂 千ア特別プロジェクト担当副部长。

## チア・にっぽん カレンダー

- チア・コンベンション  
大阪 6月3日(金)・4日(土)  
東京 6月10日(金)・11日(土)
  - サマーキャンプ 8月中旬
  - チア・オリンピック 9月中旬
  - 白馬セミナー 11月17日(木)～19日(土)
    - 講師：イスラエル・ウェイン氏  
マイク・ドネリー弁護士
- ★2017年コンベンションか白馬には、  
グレッグ・ハリス氏が来てくださる予定です。

### 【1月会計】

収入	
献金	1,642,000
書籍・教科書	383,618
会費	17,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	9,930
その他	10,008
2,092,556	
支出	
事務局経費	1,974,876
通信運搬費	78,416
交通費	14,054
印刷費他	8,640
DVD & 商品仕入費	6,489
出版プロジェクト費	168,806
2,251,281	
残高	-158,725
前期繰越	162,640
翌期繰越	3,915

☆尊い献金、会費の送金を、  
心から感謝いたします。

\*9月の会計報告で、支出の合計に間違いがありました。正しくは、  
¥1,684,284でした。申し訳ありません。

## 発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P  
定価：本体2,000円＋税

柏崎良子医師のマリア・クリニックにおける治療を、  
症例、検査の意味と意義、治療法、  
発達障害になる原因分析、  
治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

#### <本の内容>

- 序文 発達障害や精神障害の治療を願って
- I. 発達障害から良くなった子供たち
  - II. どのように治療をするのか
    - A. 治療の枠組みと方法
    - B. 発達障害についての私たちの立場
    - C. 発達障害の治療への取り組み
    - D. 治療方法の説明
  - III. 治療に必要な知識や理論
    - A. 身体の形成と栄養の補給
    - B. 障害への対応の基礎知識
  - IV. 統計、よくある質問、索引
    - A. 発達障害検査統計
    - B. よくある質問

お問合せ：株式会社ヨーゼフ  
Tel : 043-207-6035 Fax : 043-207-6036  
メール : info@yozeph.com ホームページ : <http://yozeph.com>

## コンベンション講演・ 分科会 CD・DVD

全70講演を収録したコンベンションDVD、(コンピューター用・mp3版)には、特別講師の講演のパワーポイントデータも入っています。お申込みは、チア事務局へ！

定価 6800円(税込)



チア・にっぽん事務局  
〒189-0013  
東京都東村山市栄町  
1-5-4-103  
TEL : 042-318-1807  
FAX : 03-6862-8648  
Mail : office@cheajapan.com